

〃 〃 余部市午 多数	7-VI-1994	永幡嘉之 ⁴
香美町小代区(美方町) 熱田	7卵	10-VI-1977 高田・井手 ⁴
〃 〃 秋岡	3卵	9-X-1994 近藤伸一 ⁴
香美町村岡区(村岡町) 村岡	1♀	2-VII-1978 高田忠彦 ⁴
〃 〃 瀧川山	1♂	23-VI-1978 福井丈嗣 ⁴
〃 〃 和佐父	1♀	6-VII-1992 永幡嘉之 ⁴
扇ノ山		辻 啓介 ⁴
新温泉町(温泉町) 上山	1♂	8-VII-1984 黒井和之 ⁴
〃 〃 菅原	5卵	9-V-1978 佐々木薫 ⁴
〃 〃 檜尾	1♀	12-VI-1983 黒井和之 ⁴
〃 〃 海上	1卵	30-X-1977 高田・井手 ⁴
〃 〃 肥前畑	1卵	30-X-1977 高田・井手 ⁴
〃 〃 越坂	5♂2♀	13-VI-1992 永幡嘉之 ⁴
〃 〃 霧ヶ滝	2♂	17-VI-1992 永幡嘉之 ⁴
〃 〃 扇ノ山小ズッコ	2♀	20-VII-1992 永幡嘉之 ⁴
新温泉町(浜坂町) 田君	1卵	19-III-1977 高田忠彦 ⁴
〃 〃 本谷	2♂	2-VI-1994 永幡嘉之 ⁴
〃 〃 久斗山	3♂	14-VI-1991 永幡嘉之 ⁴
〃 〃 芦屋城山	1♂	10-VI-1991 下雅意公夫 ¹⁰⁵
朝来市(朝来郡) 段ヶ峰	多数	29-VI-1951 西村公夫 ⁴
朝来市生野町栃原	1幼虫	8-V-1983 近藤伸一 ⁴
〃 〃 黒川	3卵	24-III-1985 近藤伸一 ⁴
〃 〃 栃原〜千田峠	4卵	4-X-2001 ⁷⁸²
朝来市和田山町糸井	1幼虫	25-IV-1982 広畑政巳 ⁴
養父市(養父郡) 野谷	6卵	5-III-1978 高田・福原・糺谷 ⁴
養父市(関宮町) 鉢伏山小代越	1♂	28-VI-1992 永幡嘉之 ⁴
〃 〃 氷ノ山夏道	7♀	4-VII-1972 木下賢司 ⁴
〃 〃 福定	7♀	24-VII-1991 永幡嘉之 ⁴
〃 〃 相地	4卵	17-X-1977 高田忠彦 ⁴
〃 〃 加保坂	2♂2♀	8-VII-2000 ³⁹³
養父市大屋町横行	1♂1♀	19-VI-1982 高島 昭 ⁴
〃 〃 杉ヶ沢	1ex	25-VI-1983 入江照夫 ⁴
〃 〃 加保	10卵	21-X-1976 糺谷 徹 ⁴
〃 〃 若杉	1ex	25-VI-1983 ⁴
〃 〃 氷ノ山林道	1♀	4-VII-1993 大東康人 ⁴
〃 〃 明延	1♂	30-VI-2001 近藤伸一 ⁴
篠山市後川新田	2♂	22-VI-1997 鍋島五郎 ⁹⁷

32 ミドリシジミ

(*Neozephyrus japonicus*)

■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、アムール、西シベリア、サハリ
ンに分布し、国内では北海道、本州、四国、九州の平
地、山地に広く分布する。

兵庫県版レッドデータブックでは地域限定貴重種
で、淡路島でCランクに他の地域では要注目種に選定さ
れている。

県内では、全域に広く点在しているが、丹波地域か
ら但馬東部にかけての区域に分布の空白域がある。し
かし、これらの区域については、詳しい記録がないだ
けで、篠山市(篠山町)には採集記録もあり、新しい
生息地が発見される可能性は高い。

豊岡市日高町稲葉三川山が現在確認されている北限
の生息地で、南あわじ市(南淡町)阿万が南限である。

■ 生息環境

ハンノキが分布する湿地や水田、河川、池などの周
辺が主な生息地で、里のチョウという印象が強い。標
高 300m以下に生息地が集中しているが、1,000 mを
越える場所でも採集されている。淡路島では100m以
下の平地や低山地のハンノキ林に生息し、個体数は多
い。集落周辺に生息場所が多いため、開発され消失し
た産地も多い。幼虫は初夏にハンノキの葉を綴った巣
を造り、発見は極めて容易なので、今後の調査を期待
したい。

■ 生態

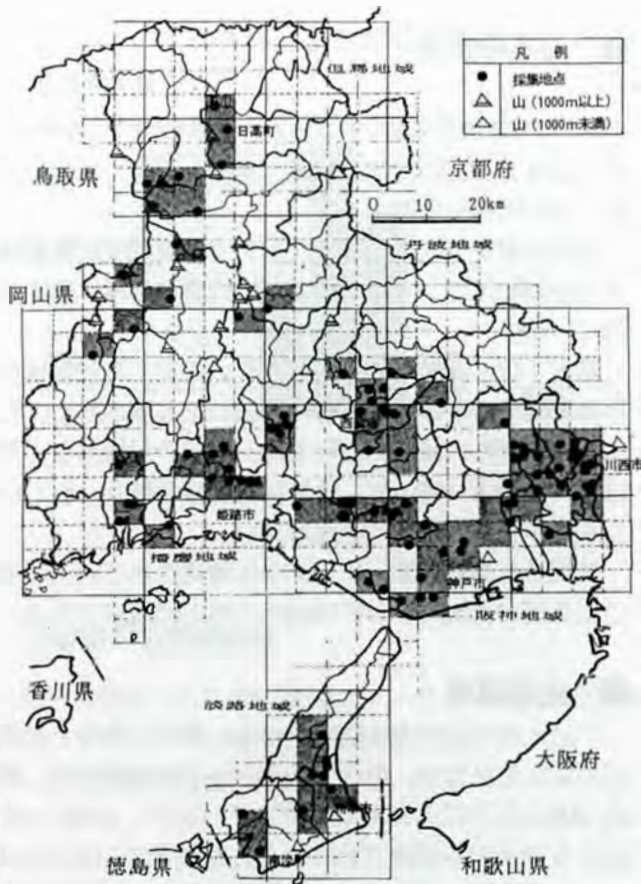
【成虫の発生時期】

成虫は年1回発生する。6月上旬ごろから見られるが、
発生のピークは6月中旬で8月上旬ごろまで見られる。

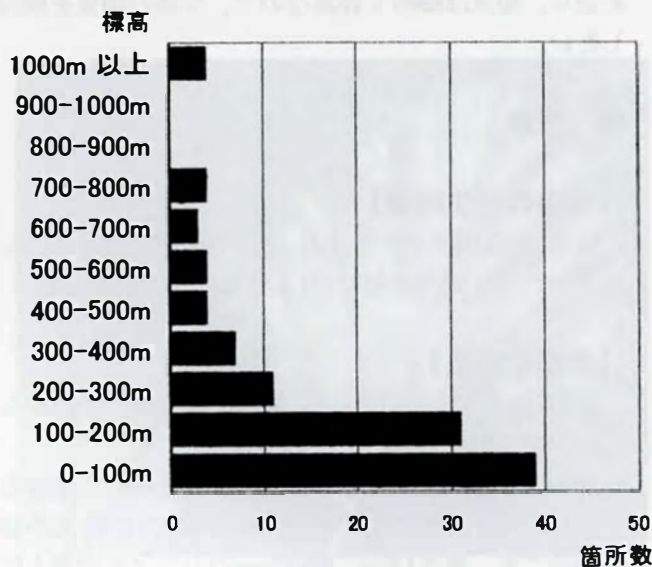
【産卵と幼虫】

産卵は6月下旬ごろハンノキの小枝や幹に数卵から
十数卵産み付けられる。

卵のまま越冬し、翌春ハンノキの新芽が吹く頃から
孵化を始める。姫路市の産卵の観察例では6月末の15
時30分ごろ、高さ1.5m、幹径5cmのハンノキの葉上
にとまり、葉から小枝へ、小枝から太い枝へと前進し、
枝の分岐部、窪みに尾端を前後左右に動かしながら産
卵場所を確認し、1~3卵を産付、産卵行動は約5分間で、



ミドリシジミの県内分布



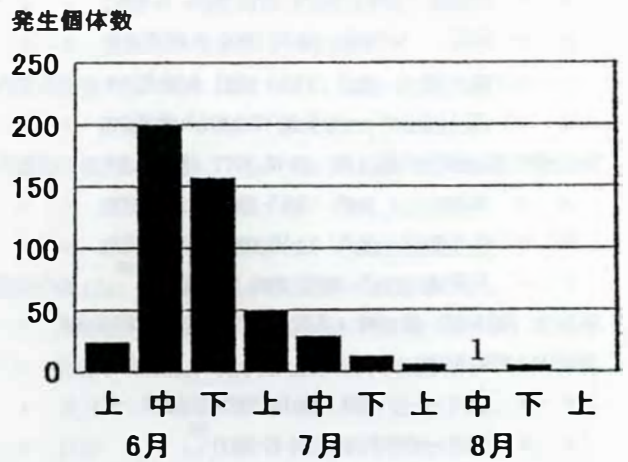
ミドリシジミの垂直分布

産卵数は10卵であった。

幼虫はハンノキの葉をつづって巣をつくり、終令幼虫まで幾つもの巣を作り変えながら、普段はこの中に潜んでいる。5月中旬ごろには幹を伝って降り、木の根元に堆積した落葉や木の又にたまった落ち葉などに蛹化する。

幼虫は寄生バエなどに寄生されている率が高く、幼虫を採集して飼育すると2割程度寄生されていることが多い。

ミドリシジミの周年経過



【幼虫の食餌植物】

県内で確認されている食餌植物はハンノキだけであるが、香美町村岡区(村岡町)大笹ではケヤマハンノキの密生するスキー場の斜面で多数の成虫が確認されており、ケヤマハンノキを食草としている可能性は高い。

【成虫の吸蜜植物】


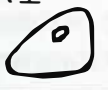

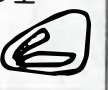


県内で観察された吸蜜植物はクリの花だけである。

【斑紋の変異】

本種の雌の前翅に赤青の斑紋がないO型、赤の斑紋が出るA型、青の斑紋だけが出るB型、青と赤の斑紋が出るAB型に分けると兵庫県産の検視した雌の個体は次の表のとおりである。

兵庫県産検視標本419個体を見る限りでは、産地によって差はあるが、約50%がO型、30%がB型、10%がA型で、AB型は10%にも満たないという状況である。その中で、福崎町産と加東市(社町)産ではO型が少なくA型、AB型のウエートが高い。また洲本市産はA型が県平均の2倍以上あり、AB型が加東市(社町)産同様多い。

兵庫県におけるミドリシジミの雌の斑紋の変異

産地名	雌の斑紋		A型		B型	A B型		計
	O型							
相生市 光明山	10			2	5		0	17
〃 龍泉	10			1	8		0	19
姫路市 御立	8			1	4		2	15
〃 砥堀	10			0	8		1	19
福崎町 東田原	10			4	9		3	26
社町 下久米	14			5	17		6	42
西脇市 塚口	2			0	0		0	2
夢前町 菅生潤	22			0	9		0	31
篠山市(城東町)辻	103			22	70		18	213
洲本市 安乎	14			8	8		5	35
合計	203			43	138		35	419
%	48.4			10.3	32.9		8.4	100

■ 採集記録

川西市満願寺 4♂3♀ 23-VI-1983 松井賢慈⁶
 〃 西多田 5-VII-1969 小坂利明⁶
 〃 西畑野 25-VI-1977 仲田元亮⁶
 〃 山原 25-VI-1977 仲田元亮⁶
 〃 笹部 23-VI-1973 松浦 徹⁶
 〃 鼓ヶ滝⁶多田⁶東多田⁶
 〃 東谷⁶
 〃 一の鳥居〜吉川1♀3-VII-1960 日浦 勇⁶
 三田市市之瀬 2幼虫 5-V-1985 近藤伸一⁶
 〃 乙原 60幼虫 5-V-1979 杠 隆史⁶
 〃 木器 7卵 11-IV-1976 若林守男⁶
 〃 本郷 42卵 22-XI-1981 勝屋 潤⁶
 〃 有馬富士 3♂1♀25-VI-2001³⁷³
 〃 福島 1♀ 12-VII-2003⁸⁹³
 宝塚市大原野 3幼虫 3-VI-1973 松浦 徹⁶
 〃 武田尾 6
 〃 西谷西部 ♂ 18-VI-1983 6
 〃 榎峠 1-VII-1979 6

〃 玉瀬 9-VII-1979⁶
 〃 波豆〜三田市木器 18-VII-1978⁶
 〃 切畑 ♂ 24-VI-1951 吉坂道雄⁶
 猪名川町三草山 1♂ 12-VII-1986緒方正雄⁶
 〃 内馬場 25卵 17-II-1991⁶
 〃 銀山 29-VI-1975 小坂利明⁶
 〃 槻並 26-VI-1977 小坂利明⁶
 〃 紫合 50幼虫15-V-1999竹内 剛¹⁷⁸
 〃 柏原 1♂ 13-VI-1980¹²⁵
 〃 上杉 5♀ 24-VI-1980長沼二郎⁹⁷
 〃 木間生 3幼虫 19-V-1990鍋島五郎⁹⁷
 〃 島 2♂ 10-VII-1994柴田洋昭¹⁷⁸
 〃 大野山 卵多数 7-IX-2000⁷⁷¹
 〃 下阿古谷⁶上阿古谷⁶
 西宮市山口町 4幼虫 29-IV-1981 近藤伸一⁶
 〃 金仙寺 1♂ 16-VI-1982 杠 隆史⁶
 〃 中山森林公園 1幼虫 5-V-1995⁶
 〃 赤坂峠 2♂ 31-VI-1963 田中 恭⁶
 【神戸市】
 須磨区多井畑 1♂1♀ 11-VII-1964 三木 進⁶
 垂水区名谷⁶

- 北区有馬 1♀ 16-VII-1961 尾崎 勇⁶
 " 丹生山 3♂3♀ 18-VI-1961 尾崎 勇⁶
 " 山田町⁶
 " 道場町2♂1♀(例)5~7-VI-1958 吉坂道雄⁶
 " 山の街 3♀ 5-VII-1952 吉坂道雄⁶
 " 箕谷 1♂3♀ 27-VI-1954 吉坂道雄⁶
 " 東下 30卵 25-III-2000⁷⁶⁵
 西区玉津町 3♂2♀ 21-VI-1959 尾崎 勇⁶
 " 大山寺 2♂ 16-VI-1963 尾崎 勇⁶
 " 押部谷 1♀ 1-VII-1962 尾崎 勇⁶
 " 藍那 尾崎 勇⁶
 " 伊川谷町長坂 柴田洋昭¹⁷⁸
 明石市松蔭新田 1♂ 14-VI-1987 近藤伸一⁶
 " 東山町 1♂ 7-VII-1962 大東康人⁶
 三木市三津田 4幼虫 21-IV-2001³⁷¹
 " 久留美 1♂羽化 13-VI-1988 芝 直幸⁶
 " 平井 2♂羽化 13-VI-1988 芝 直幸⁶
 " 志染町戸田 4♂ 21-VI-1986 永幡嘉之⁶
 " 細川町増田 2♂ VI 小倉 滋⁶
 " 大村 3♂ 17-VI-1987 永幡嘉之⁶
 " 与呂木 1♂ 14-VI-1988 永幡嘉之⁶
 小野市来住 1♂1♀ 24-VI-1987 高島 昭⁶
 " 下来住⁶
 加古川市志方町水室1♂18-VI-1983 近藤伸一⁶
 " 上荘町⁶
 西脇市塚口⁶
 " 富吉⁶
 " 武島 9-VI-1959⁶
 加東市(社町)下 久米
 多可町中区(中町) 奥中20卵 12-VII-1976 若林守男⁶
 西脇市黒田庄町1 雄 27-VI-1959⁶
 " " 喜多⁶
 姫路市書写 2幼虫 20-V-1981 近藤伸一⁶
 " 御立北山 1♀ 24-VI-1978 広畑政巳⁶
 " 御立 1♂ 27-VI-1989 高島 昭⁶
 " 上砥堀 8卵 24-III-1976 井出敏晴⁶
 " 広峰・増井⁶
 " 林田町八幡神社
 2幼虫 13-V-1984 広畑政巳⁶
 姫路市夢前町山富 1♂ 27-VI-1981 近藤伸一⁶
 " " 小坪 8卵 24-II-1977 高田 井出⁶
 " " 菅生潤⁶
 市川町下牛尾河内 1♂ 8-VI-1991五十嵐喜昭⁵⁵
 " 下瀬加 3♂8♀ 20-VI-1993 広畑政巳⁶
 福崎町加治谷 6幼虫 4-V-1978 広畑政巳⁶
 " 日光寺山 1♂ 16-VI-1975 森下 泰治⁶
 " 井ノ口 1♀ 28-VI-1974 石井為久⁶
 " 東田原⁶
 神河町(大河内町)砥峰 1♂1♀ 9-VII-1981 広畑政巳⁶
 たつの市揖保川町馬場3♂2♀ 24-VI-2000山岡万寿夫¹⁷⁹
 たつの市御津町碓岩 尾田和久⁶
 宍粟市波賀町水谷10幼虫2令 15-V-1977 高田・井出⁶
 " " 道谷 尾崎 勇⁶
 宍粟市千種町三窟山 尾崎 勇⁶
 " " 鷹巣 1幼虫 19-V-1985 近藤伸一⁶
 相生市山手町 3♂2♀ 14-VI-1968 米村和繁⁶
 " 三濃山 1ex 19-VII-1981 若木隆幸⁶
 " 光明山・龍泉・佐方⁶
 佐用町海内 1♂ 16-VI-1974 尾崎 勇⁶
 豊岡町森尾 23-VI-1974 中野⁹⁴
 豊岡市日高町名色林道 1♀ 30-VII-1981福井丈嗣⁶
 " " 稲葉三川山 1♀ 7-VII-1993 大東康人⁶
 " " 竹貫 23-VI-1963 友田⁹⁴
 香美町村岡区(村岡町) 大笹 2♂ 3-VII-1982 木下賢司⁶
 香美町ノ下代区(美方町) 熱田 7卵 5-X-1-1977 高田忠彦⁶
 朝来市生野町生野牧場 3♂2♀ 28-VIII-1971 井上 健⁶
 養父市八鹿町妙見 13卵 14-X-1977 高田・井手⁶
 養父市大屋町杉ヶ沢 1♂ 14-VII-1979 木下賢司⁶
 養父市(関宮町) 鉢伏 1♀ 23-VII-1963 尾崎 勇⁶
 " " 氷ノ山小豆コロガシ 1♂ 24-VII-1991 永幡嘉之⁶
 " " 氷ノ山東尾根 1♀ 23-VII-1991 永幡嘉之⁶
 篠山市(西紀町) 宮田 1♀ 23-VI-1960山口福男⁷⁴²
 " (城東町) 辻9♂7♀ 下旬-VI-1964山口福男⁷⁴²
 篠山市今田町今田 15卵12-III-1977 高田忠彦⁶
 岡野村(現篠山市篠山町)⁶
 洲本市千草中村 1♀ 17-VI-1978 近藤伸一⁶
 " 中河原 2♂ 5-VI-1978 近藤伸一⁶
 " 三木田 5幼虫 23-IV-1978 近藤伸一⁶
 " 安乎 1♂ 10-VI-1946 堀田 久⁶
 " 先山 1♂ 1-VII-1978 浅田 卓⁶
 " 池ノ内 4♂ 14-VI-1981 林 俊雅⁴⁵⁷
 " 安乎町南 1♂ 10-VI-1946 堀田 久⁶⁴²
 " " 中田5♀ 3-VI-1973 堀田 久⁶⁴²
 " " 北谷 幼虫 堀田 久⁶⁴²
 淡路市(津名町) 大町 3♂ 19-VI-1967 登田邦明⁶
 " 大町畑 堀田 久⁶⁴²
 南あわじ市(緑町) 中条中筋1幼虫 23-IV-1978 近藤伸一⁶
 南あわじ市(西淡町) 伊加利1雄 23-V-1978 近藤伸一⁶
 南あわじ市(南淡町) 大日ダム下 堀田 久⁶⁴²
 " " 阿万 1♂ 14-VI-1961 藤平 明⁶

33 ヒサマツミドリシジミ

(*Chrysozephyrus hisamatsusanus*
hisamatsusanus)

■ 分布の状況

国外では台湾に別亜種が分布する。国内の分布はカシ類を含む常緑樹の分布の北限界(寒さ指数マイナス10~マイナス15℃の地域)とほぼ一致し、本州中部から南西部、四国、九州の限られた地区に分布している。

兵庫県版レッドデータブックではCランクに選定されている。

県内ではウラジロガシの多い西播磨地域北部から但馬地区にかけて広く点在しているが、生息が確認された場所は少なく、いずれの場所でも生息地は局限される。

豊岡市竹野町小丸が現在確認されている北限で、宍粟市山崎町梯が南限である。西播磨から但馬にかけては、ウラジロガシも多く、今後も新たな産地が見つかるものと思われる。

県南東部から淡路にかけてもウラジロガシは広く分布するが、ヒサマツミドリシジミの生息は確認されていない。

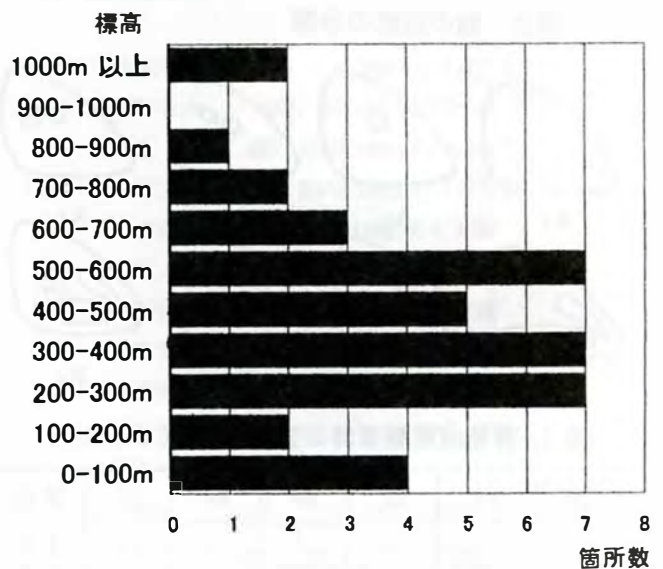
■ 生息環境

ウラジロガシにミズナラやコナラなどが混交する雑木林を生息地とし、溪流に沿った林に生息場所が多い。採集記録の標高は100mから1,000mを越える場所まであるが、1000mを越えるのは養父市(関宮町)須賀ノ山や新温泉町(温泉町)小ズッコにおける成虫の採集記録で、卵が採集された標高は700 m付近が最高である。これは成虫が発生地を離れ、高地に移動するためと思われる。低地(200m以下)の産地は県北部の豊岡市、及び旧城崎郡に限定され、南部では宍粟市山崎町梯(250 m付近)が一番標高の低い生息地と思われる。

ヒサマツミドリシジミが生息する低地の丘陵地は開発が進み、その他の2次林も近年針葉樹の植林地に代わっているため生息地は局限され、産地及び個体数は年々減少している。



ヒサマツミドリシジミの県内分布



ヒサマツミドリシジミの垂直分布

■ 雌の斑紋

本種の♀の斑紋は、川副・若林(1976)をはじめ、他の図鑑類でもAB型が大部分で、まれにB型があるとされている。また中村(1978)は日本列島を南西部に行くにしたがってB型の発生する頻度は高くなることを指摘している。

県内の個体についてはどんな傾向にあるのか、県外の斑紋の変異とも比較するため、産地ごとに表にまとめてみた。

斑紋の分類については中村(1978)に従い、橙色紋の全くあらわれていない型をA0とし、以下一個あらわれたものをA1、二個のものをA2、三個をA3とした。また、青色の薄い紋のあらわれていないものをB1として以下B2、B3、B4とした。

図1. B型斑を比較した6地域概念図



図2. 雌の斑紋の分類

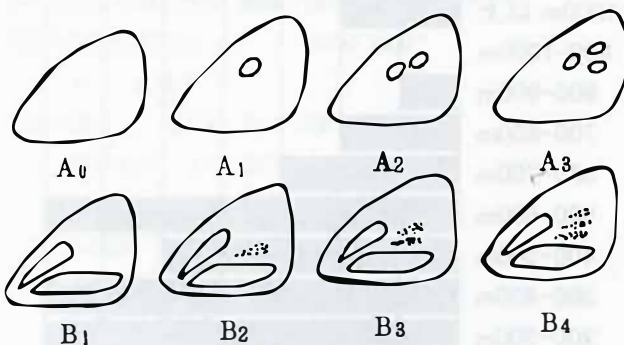


表1. 霧島山荒襲産雌の斑紋 中村(1978)

B斑 \ A斑	B1	B2	B3	B4	計	斑紋
A0	2	3	8	0	13	B型
A1	1	2	5	1	9	
A2	2	14	9	0	25	
計	5	19	22	1	47	

※ 47 頭中の B 型の比率 27.7 %

表2. 島根県匹見町産雌の斑紋 中村(1978)

B斑 \ A斑	B1	B2	B3	B4	計	斑紋
A0	1	10	13	4	28	B型
A1	2	9	17	6	34	
A2	23	25	43	9	100	
計	26	44	73	19	162	

※ 162 頭中の B 型の比率 17.2 %

表3. 兵庫県一宮町産雌の斑紋

B斑 \ A斑	B1	B2	B3	B4	計	斑紋
A0	2	0	0	0	2	B型
A1	0	3	0	0	3	
A2	21	22	27	1	71	
A3	1	0	0	0	1	A B型
計	24	25	27	1	77	

※ 77 頭中の B 型の比率 2.6 %

表4. 京都府舞鶴市宮津市産雌の斑紋 安川(1982)

B斑 \ A斑	B1	B2	B3	B4	計	斑紋
A0	5	1	0	0	6	B型
A1	6	1	1	0	8	
A2	33	27	2	0	62	
A3	5	0	0	0	5	A B型
計	49	29	3	0	81	

※ 81 頭中の B 型の比率 7.4 %

表5. 滋賀県永源寺町産雌の斑紋

B斑 \ A斑	B1	B2	B3	B4	計	斑紋
A0	0	0	1	0	1	B型
A1	0	0	3	0	3	
A2	16	26	37	1	80	
A3	0	1	2	1	4	A B型
計	16	27	43	2	88	

※ 61 頭中の B 型の比率 1.6 %

表6. 静岡県水窪町産雌の斑紋 中村(1978)

B斑 \ A斑	B1	B2	B3	B4	計	斑紋
A0	1	0	0	0	1	B型
A1	12	3	5	1	21	
A2	25	4	7	3	39	
計	38	7	12	4	61	

※ 88 頭中の B 型の比率 1.1 %

前翅に赤班のあらわれないA0-B1型個体

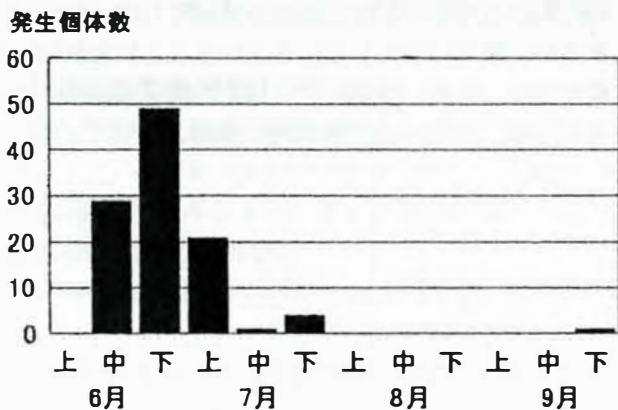


宍粟市一宮町 志倉産

検視した個体数も少なく、斑紋についての断言はできないが、調査の結果では兵庫県宍粟市一宮町産では92.2%がAB型で、B型は77頭中僅か2頭で2.6%と発生頻度は低い。この数字は滋賀県の永源寺産や静岡県水窪町産と似ている。同じ近畿地方にあってB型の発生は宮津市産の7.4%と比較すると低い。B型の発生頻度は霧島山産で27.7%、島根県匹見町産では17.3%と高く、逆にAB型はそれぞれ53.2%、61.7%と低い。

なお青色斑の色彩については紫色、藍色、その中間色があったが、全て青色斑と識別している。また翅の左右で鱗粉のでぐあいには差があるものもあったが、あらわれた程度の多いほうで分類した。

ヒサマツミドリシジミの周年経過



■ 生態

【成虫の発生時期】

成虫は年1回発生する。6月中旬ごろから見られるが、発生のピークは6月下旬で7月下旬ごろまで見られる。また秋遅く9月下旬にも観察されている。

【周年経過】

6月下旬～7月上旬ごろ交尾する。♂オスの姿は7月中旬頃までが見られ、尾根部の見はらしの良い枝で占有行動をとり、別の個体が近づくと追飛する。

夏の頃は♀の卵巣は未発達で、秋になって発達、9月下旬ごろから天候の良い午後にはウラジロガシの休眠芽に産卵するという。

卵のまま越冬し、翌春4月中～下旬の新芽が吹くころから孵化を始める。孵化した幼虫は新芽の中にもぐり込む。中令になると2～3枚の若葉を糸で粗く綴って巢状にする。5月下旬ごろには根元近くの落葉の裏側等で蛹化する。

【幼虫の食餌植物】

県内で確認された食餌植物はウラジロガシが主な食樹であるが、アカガシ、ツクバネガシ、アラカシ、イチイガシ、ミズナラ、コナラ、ブナ、ツブラジイ等からも卵は見つかっている。

■ 採集記録

神河町 (大河内町)淵	1卵	1986	五十君直弘 ⁷
宍粟市波賀町音水	3卵	6-IV-1977	高田・井出 ⁷
〃 〃 原	6卵	22-X-1983	佐々木薫 ⁷
宍粟市一宮町大路	15卵	20-III-1982	佐々木薫 ⁷
〃 〃 志倉	14卵	7-III-1982	佐々木薫 ⁷
〃 〃 樺ノ木	28卵	28-III-1982	佐々木薫 ⁷
〃 〃 阿舎利	18卵	4-X II-1982	佐々木薫 ⁷
〃 〃 富士野	3卵	17-X-1977	高田忠彦 ⁷
〃 〃 溝谷	20卵	11-X II-1983	近藤伸一 ⁷
〃 〃 福知	2卵	3-X I-1983	高嶋 明 ⁷
〃 〃 黒原	17卵	18-III-1979	八木 弘 ⁷
〃 〃 草木	13卵	24-II-1977	川崎悟郎 ⁷
〃 〃 福野	12卵	24-II-1977	川崎悟郎 ⁷
宍粟市山崎町上ノ上 ⁷			
〃 〃 梯 ⁷			
豊岡市奥野	5卵	16-X-1977	高田忠彦 ⁷
豊岡市山崎町来日	8卵	12-X-1977	高田忠彦 ⁷

〃 〃 大師山	3♂	17-VI-1982	福井丈嗣 ⁷
豊岡市日高町三川山	1♂	28-VI-1987	田岡健一郎 ⁷
〃 〃 金屋	7卵	14-III-1976	若林・高田 ⁷
〃 〃 神鍋 ⁷			
〃 〃 名色林道	1♂1♀	27-VI-1978	木下賢司 ⁷
豊岡市竹野町水上	1♂1♀	1-VII-1985	浜 祥明 ⁷
〃 〃 小丸	1♂	26-VI-1978	井出敏晴 ⁷
〃 〃 三川山	3♂	28-VI-1999	柴田洋昭 ^{7b}
〃 〃 床瀬林道	26卵	9-III-2003 ^{8b}	
豊岡市出石町奥山	6卵	16-X-1977	高田忠彦 ⁷
〃 〃 東床ノ尾山	1♂	22-VII-1976	谷角素彦 ⁷
豊岡市但東町小坂	6卵	22-X-1977	高田忠彦 ⁷
香美町香住区(香住町)大槻	4卵	21-X I-1976	高田忠彦 ⁷
〃 〃 佐津	1♀	24-IX-1984	鳥越康教 ⁷
香美町村岡区(村岡町)村岡	10卵	29-X I-1977	高田忠彦 ⁷
〃 〃 楯山	1♂	3-VII-1983	黒井和之 ⁷
〃 〃 村岡高原	60卵	14-II-2001 ^{7b}	
香美町小代区(美方町)熱田	12卵	13-III-1976	高田・井出 ⁷
新温泉町(温泉町)楡尾	8卵	27-X I-1977	高田忠彦 ⁷
〃 〃 小ツッコ	1♀	8-VII-1985	谷角・黒井 ⁷
〃 〃 花口	1幼虫	19-V-1985	黒井和之 ⁷
〃 〃 霧ヶ滝	2卵	18-IX-1995	小椋 隆 ^{8a}
新温泉町(浜坂町)久斗山	6卵	10-X-1977	高田忠彦 ⁷
〃 〃 本谷	1♂	25-VI-1993	永幡嘉之 ⁷
朝来市生野町栲原	2卵	-I-1984	高嶋 明 ⁷
〃 〃 栲原～千町峠	2卵	4-X-2001 ^{7b2}	
〃 〃 白口		-I-1984	高嶋 明 ⁷
〃 〃 黒川	18卵	18-I-2001 ⁷⁷⁵	
朝来市(朝来町)小田路		-I-1984	高嶋 明 ⁷
〃 〃 神子畑	10卵	23-X-1982	広畑政巳 ⁷
〃 〃 多々良木	111卵	9-X II-2000 ⁷⁷⁴	
朝来市和田山町糸井溪谷	6卵	3-VI-1977	高田・井出 ⁷
養父市(養父町)野谷	2卵	5-III-1978	高田忠彦 ⁷
養父市(関宮町)須賀ノ山	1♂	24-VII-1977	福田洋一 ⁷
〃 〃 杉ヶ沢高原	1♀	1-VII-1984	墨谷 健 ⁷
養父市大屋町天滝	7卵	31-III-1977	高田・井出 ⁷

34 メスアカミドリシジミ

(*Chrysozephyrus smaragdinus smaragdinus*)

■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国大陸、アムールなどに分布
国内では幼虫の食樹であるサクラ類の分布に併せて、
北海道、本州、九州に分布する。

県内における本種の最初の確実な記録は、山本広一
氏が1935年7月12日に姫路市夢前町雪彦山のモミジ谷
で採集されたものである。

その後、採卵技術の発達等によって現在では県の北
部、西部を中心としてかなりの産地がみつがっている。

日本海側では矢田川、岸田川、円山川等の河川の上
流地域において、又瀬戸内側の千種川、揖保川、市川、
加古川等の各河川の上流地域にかなりの産地が点在し
ている。

食樹のサクラ類は県内全域に分布するがメスアカミ
ドリシジミの分布は西播磨、但馬の山地を中心に内陸
の比較的高地に限られる。しかし分布の範囲は比較的
広く個体数も多い。

県南部の低地にも産地は点在するが、個体数は極め
て少ない。豊岡市城崎町来日岳が現在確認されている
北限で、姫路市林田町六九谷が南限である。丹波地域
北部にもメスアカミドリシジミが生息している可能性
は高いが、確認されていない。

■ 生息環境

山地の溪流沿いの雑木林を主な生息地としているが、
山腹斜面や道路に面したサクラ類からもよく卵が見つ
かる。生息地の標高は100mから1000mを越える場所ま
で見られるが、卵は100 m～700 m付近で多く見られ
るが、成虫は400 m～800 m付近の記録が多い。兵庫
県における南限の記録は姫路市林田町(100m付近)で
あるが、確実に分布しているということになれば、福
崎町田口、姫路市夢前町雪彦山をへて、佐用町上石井
を結ぶ線が現在のところ本種の南限となっている。

■ 生態

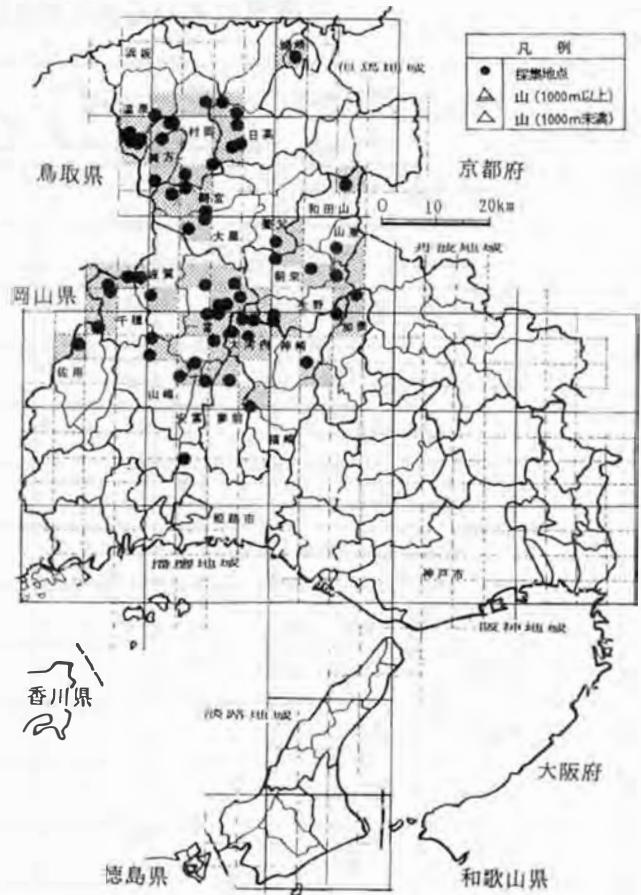
【周年経過】

成虫は年1回発生する。6月上旬ごろから見られるが、発生ピークは6月下旬で7月下旬ごろまで見られる。

産卵はヤマザクラなどサクラの仲間の枝の窪みや分岐部などに通常1卵ずつ産み付けられる。2卵のケースも多い。卵のままで越冬し、翌春サクラの新芽が吹く3月下旬ごろから孵化を始める。1977年の3月27日に姫路市安富町大河弁獄で採卵した卵はその日のうちに孵化した例もある。

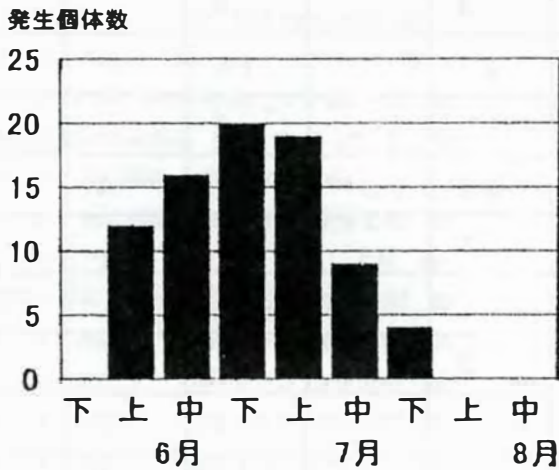
卵はハチなどに寄生されている場合もあり、宍粟市一宮町でヤマザクラの太枝の分岐部で採集された17卵のうち、15卵が寄生されていたという例もある。

若令幼虫、中令幼虫はサクラの新芽、若葉で見られる。終令幼虫は蛹化時期には一斉に幹を伝って降りてくる。朝来市山東町での観察では、5月20日に川沿いのソメイヨシノ並木で、幹から降りてくる多数の終令幼虫を観察したが、前蛹は樹の根元、樹皮の裏、裂け目、幹に巻きついたツタと樹の間、根際の枯葉の裏などで見られた。



メスアカミドリシジミの県内分布

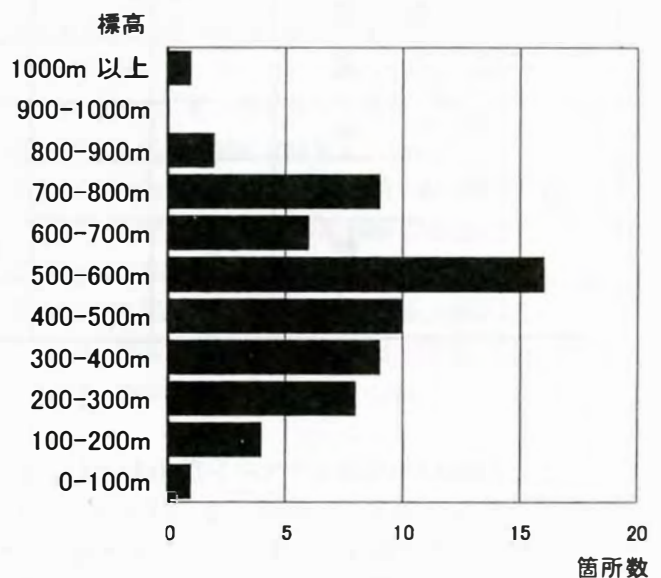
メスアカミドリシジミの周年経過



【幼虫の食餌植物】

県内で確認されている食餌植物はヤマザクラ、ソメイヨシノ、キンキマメザクラなどである。宍粟市一宮町での観察ではキンキマメザクラを特に好み、小さな木でも産付される卵は多いという。

上記のほか県内の生息地ではエドヒガン、カスミザクラ、オオヤマザクラが分布し、食樹になっているものと思われるが、サクラ類の種の同定が困難なこともあって、確認はされていない。



メスアカミドリシジミの垂直分布

■ 雌の斑紋の変異

兵庫県におけるメスアカミドリシジミの雌の斑紋の変異

産地名	雌の斑紋					計		
								
一宮町 福知			56	30		86	3	
〃 草木	2		12	4		18		
〃 百千家満			8	5		13		
神崎町 根宇野			2	1		3		
〃 作畑新田			7	2		9		
山崎町 梯			20	9		29		
〃 河原山			9	7		16		
夢前町 雪彦山			6	1		7		
佐用町 上石井				1		1		
千種町 木地山			1	1		2		
〃 三室山					1	1		
波賀町 赤西			1	4		5		
生野町 栃原	1		47	27		75		
加美町 三国山			2			2		
関宮町 杉ヶ沢			10	11		21	2	1
〃 福定			6	5		11		
大河内町 砥峰			5			5		
〃 深山				2		2		
山東町 与布土			1			1		
計	3		193	110	1	307	5	1
%	1		62.9	35.8	0.3	100		

本種雌の前翅の橙色斑はクライン現象を示し、北海道では大きく発達し、南西日本では小さくなり、九州では消失する個体もある。また、中部地方より北の産地のものの橙色斑の発達した個体は、後翅表後角部付近や中室付近に小さい橙色斑があらわれることがある。これが国内の本種の斑紋の傾向で

あるが、県内では検視した307個体のうち大きな斑紋があらわれたのは三室山の1頭だけで、小さな橙色斑が2~3個の個体が大半であった。ちなみに橙色斑2個が一番多く62.9%、3個が36.8%となっている。斑紋があらわれないO型は少なく朝来市生野町栃原の1頭と宍粟市一宮町草木の2頭の計3頭だけで

あった。

後翅に斑紋が出る個体も養父市大屋町杉ヶ沢産に2頭と産に宍粟市一宮町福知1頭あった。また、後翅中室端に橙色斑紋があらわれた個体が福知産で3頭あった。

■ 採集記録

多可町加美区(加美町)三国岳⁷

姫路市林田町六九谷1卵 尾崎 勇⁷
 姫路市夢前町雪彦山 1幼虫 3-V-1980 広畑政巳⁷
 姫路市安富町大河弁獄 1卵 27-III-1977 広畑政巳⁷
 福崎町田口 3卵 4-X-1984 広畑政巳⁷

神河町(神崎町)根字野⁷

〃 〃 作如新田 2卵 1-I-1997 広畑政巳⁷
 〃 〃 越知川上流13卵 19-III-1979 石井為久⁷

神河町(大河内町)川上(深山)2♂ 17-VI-1973 広畑政巳⁷

〃 〃 砥峰⁷
 〃 〃 峰山高原 3幼虫 6-V-1979 近藤伸一⁷
 〃 〃 太田池 5卵 23-IX-1976 広畑政巳⁷

宍粟市山崎町 梯 25卵 17-I-1982 広畑政巳⁷

〃 〃 上ノ上⁷
 〃 〃 上ノ下 8卵 19-I-1976 高田・井出⁷
 〃 〃 筏 4♂ 7-VI-1964 岩村 巖⁷
 〃 〃 与位 8卵 14-I-1979 岩村 巖⁷
 〃 〃 河原山国有林21卵 7-I-1980 岩村 巖⁷

宍粟市波賀町赤西溪谷 5卵 21-III-1977 白井祐一⁷

〃 〃 原不動滝 3卵 3-X I-1994⁷
 〃 〃 東山高原 3卵 2-X II-1979 岩村 巖⁷
 〃 〃 戸倉 岩村 巖⁷

宍粟市一宮町下千町 42卵 12-II-1979 岩村 巖⁷

〃 〃 太谷 8卵 5-I-1980 岩村 巖⁷
 〃 〃 東河内 3卵 2-X II-1979 岩村 巖⁷
 〃 〃 伊和 1卵 2-X II-1979 岩村 巖⁷
 〃 〃 草木 11卵 1-X II-1979 佐々木薫⁷
 〃 〃 百千家満⁷
 〃 〃 黒原 18卵 18-III-1978 八木 弘⁷
 〃 〃 福地溪谷 1卵 22-II-1984 広畑政巳⁷
 〃 〃 福中 5♂ 7♀羽化 5-V-1980 尾崎 勇⁷
 〃 〃 公文 49卵 23-X-1983 勝屋 潤⁷

宍粟市千種町三室山⁷

〃 〃 木地山 12卵 29-X-1977 高田・小林⁷
 〃 〃 天児屋 4卵 28-X I-1984 広畑政巳⁷

佐川町日名倉山 9卵 29-X-1977 高田忠彦⁷

〃 上石井 3卵 27-X I-1983 広畑政巳⁷

豊岡市竹野町三川山 2♂1♀ 柴田洋昭¹⁷⁸

〃 〃 床瀬林道 8卵 9-III-2003⁸⁸⁶

豊岡市城崎町来日岳 11卵 9-X II-1995 梁瀬 守⁷

豊岡市日高町金屋 10卵 9-X-1977 高田忠彦⁷

〃 〃 三川山 1♂ 26-VI-1994⁷

〃 〃 稲葉 9幼虫 24-IV-1994 大東康人⁷

〃 〃 神鍋 29卵 23-X-1994⁷

〃 〃 名色林道 2♂ 27-VI-1978 木下賢司⁷

〃 〃 金谷 2♂ 7-VI-1982 前平照雄⁷

〃 〃 阿瀬溪谷 22卵 9-X II-2001⁸⁰⁷

新温泉町(温泉町)小ツッコ 1♂ 29-VI-1991 永幡嘉之⁷

〃 〃 海上 3卵 30-X-1977 高田・井出⁷

〃 〃 菅原 1♂ 4-VII-1982 黒井和之⁷

〃 〃 上山高原 2♂ 26-VII-1983 黒井和之⁷

〃 〃 肥前畑 1♂ 10-VII-1983 黒井和之⁷

〃 〃 霧ヶ滝 1♂ 26-VI-1992 永幡嘉之⁷

〃 〃 美原 1♀ 11-VII-1982 黒井和之⁷

香美町小代区(美方町)熱田 2幼虫 10-IV-1977 高田・井出⁷

〃 〃 小代スキー場 20-IV-1981 加野⁷

〃 〃 秋岡小代溪谷102卵 7-X-1992 吉富章雄⁷

香美町村岡区(村岡町)熊波1♀ 2-VII-1994 小林一彦⁷

〃 〃 作山 4卵 20-X I-1977 高田忠彦⁷

〃 〃 大笹 1♂ 3-VII-1984 木下賢司⁷

〃 〃 相岡 1♀ 11-VII-1982 黒井和之⁷

〃 〃 小城 3♂ 20-VI-1993 黒井和之⁷

〃 〃 村岡高原 60卵 14-II-2001⁷⁷⁶

養父市(関宮町)別宮 3幼虫 23-IV-1978 高田・井出⁷

〃 〃 杉ヶ沢 1♂ 26-VI-1977 広畑政巳⁷

〃 〃 福定 1♂ 14-VII-1991 永幡嘉之⁷

〃 〃 加保坂 1♂2♀ 8-VII-2000³⁸⁹

養父市大屋町天滝 8卵 31-III-1977 高田・井出⁷

〃 〃 横行 佐々木薫⁷

養父市(養父町)野谷 2卵 11-X II-1977 福原洋一⁷

朝来市和田山町糸井溪谷 10卵 6-X I-1994⁷

朝来市(朝来町)奥多々良木 2卵 10-X-1976 糀谷 徹⁷

〃 〃 佐中 2卵 23-X-1982 広畑政巳⁷

朝来市山東町与布土幼虫前蛹 15-III-1984 広畑政巳⁷

朝来市生野町黒川 1卵 24-III-1985 近藤伸一⁷

〃 〃 栲原 2幼虫 30-IV-1979 近藤伸一⁷

〃 〃 栲原~千町峠16卵 4-X-2001⁷⁸²

35 アイノミドリシジミ

(*Chrysozephyrus brilliantinus brilliantinus*)

■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国大陸からアムールに分布、国内では北海道、本州、四国、九州に分布する。

食樹であるミズナラ、コナラの分布に併せて、ミズナラ、コナラは県内各地に分布するが、県内のアイノミドリシジミの分布は、西播磨及び但馬の西部山地を中心に、内陸の比較的高標高地に限られる。近年に篠山市から猪名川にいたる山塊で生息が確認された。

香美町香住区（香住町）三川が現在確認されている北限で、大野山（篠山市と猪名川町の境界付近）が南限である。但馬の東部地域での生息は確認されていないが、床ノ尾山塊や糸井溪谷、青倉山塊などアイノミドリシジミの生息に適した環境はまだ残っており、今後の調査を期待したい。

■ 生息環境

ミズナラやコナラなどが多い溪流沿いの雑木林を主な生息地としている。生息地の標高は100mから1000mを越える場所まで見られる。成虫は1,000mを越える養父市(関宮町)須賀ノ山や新温泉町(温泉町)小ズッコでも採集されているが、卵は800m以下の場所で採集され、400m～700m付近が分布の中心のようである。低地の産地は県北部の香美町香住区（香住町）三川(200m付近) であるが、南部では宍粟市山崎町上ノ上(320m付近)、が現在確認されている一番標高の低い生息地である。

■ 生態

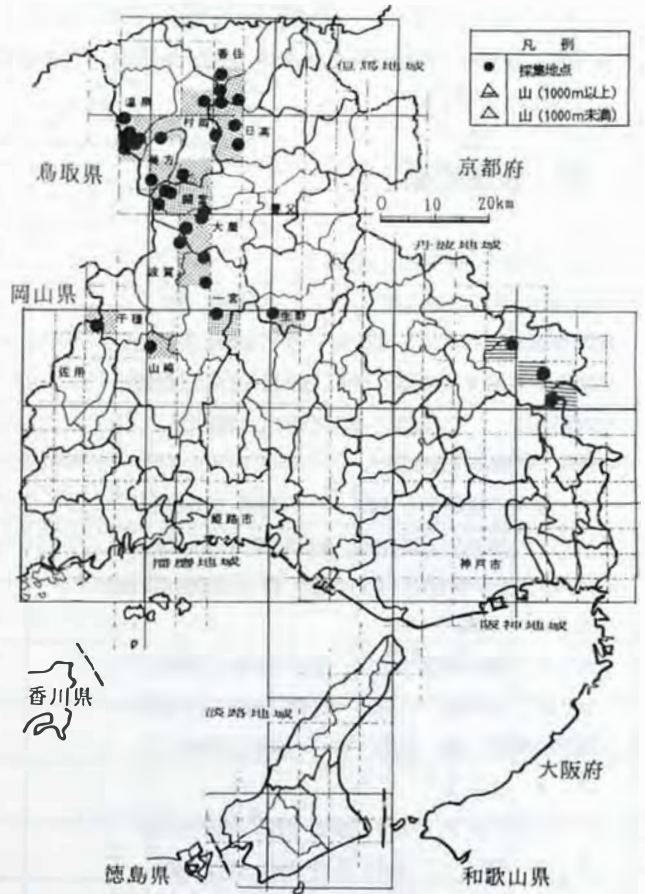
【成虫の発生時期】

成虫は年1回発生する。産卵は1～2卵づつミズナラなどの休眠芽に産み付けられる。卵のまま越冬し、翌春新芽が吹くごろから孵化を始める。

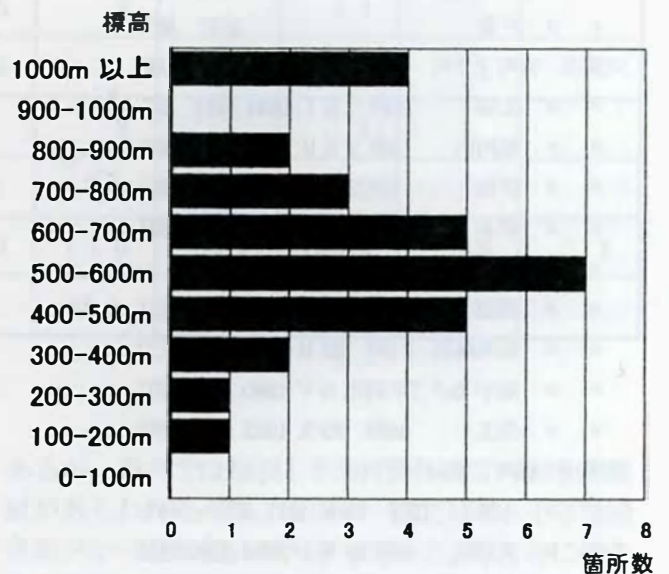
成虫は6月中旬ごろから見られるが、発生ピークは7月上旬で7月下旬ごろまで見られる。

【幼虫の食餌植物】

県内で確認された食餌植物はミズナラ、コナラの落葉カシであるが、ウラジロガシの休眠芽からも卵が採集されている。



アイノミドリシジミの県内分布



アイノミドリシジミの垂直分布

兵庫県におけるアイノミドリシジミの雌の斑紋の変異

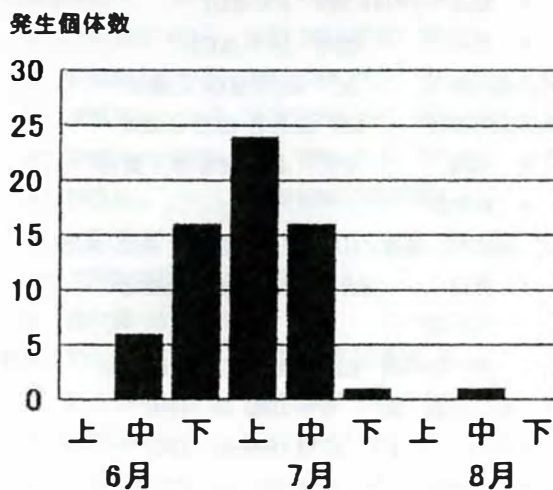
産地名	雌の斑紋						計	型	
	A	型	A	B	型				
生野町 栃原		1	4		1	1	16		
関宮町 福定	3	1	18	5	8	5	40	1	
〃 大久保	1			1	9	1	12	1	
一宮町 縦ノ木林道					2		2		
大屋町 横行			9	3	2	2	16		
温泉町 扇ノ山				2			2		
斑紋別計	4	2	31	11	32	8	88		
型別計	6		82					88	
%	6.8		93.2					100	

■ 雌の斑紋の変異

中部地方以北の雌は赤色斑だけあらわれるA型が普通で、稀に赤色斑と青色斑があらわれるAB型、赤、青色斑があらわれないO型がみられるようである。関西以西ではAB型が多く、しかも斑紋が大きく鮮明になる。稀に青色斑だけがあらわれるB型も得られる。九州産のB斑、中四国産A斑は特に大きく発達することが知られている。

県内においてはAB型の個体が普通で、検視した個体88頭中93.2%がAB型で残り6.8%がA型となり、O型、B型はない。また、養父市(関宮町)福定、大久保の個体に後翅に小さな斑紋があらわれた個体がそれぞれ1頭あった。

アイノミドリシジミの周年経過



■ 採集記録

- 猪名川町大野山 2♂ 10-VII-1999 森地重博⁶⁸⁴
 神河町(大河内町)砥ノ峰 8卵 11-III-2001⁷⁷⁷
 佐川町日名倉山⁷
 宍粟市山崎町七ノ土⁷
 宍粟市一宮町福知 1卵 13-III-1977 高田忠彦⁷
 " " 公文 2卵 24-X II-1983 佐々木薫⁷
 " " 樺ノ木林道⁷
 宍粟市波賀町道谷 3卵 15-IV-1978 高田・井出⁷
 豊岡市日高町金屋 3卵 9-X-1977 高田・井出⁷
 " " 三川山 1♂ 16-VI-1991⁷
 " " 名色林道 1♂ 1-VII-1978 木下賢司⁷
 " " 阿瀬溪谷 8卵 9-X II-2001⁸⁰⁷
 豊岡市竹野町水山 1-VII-1985 浜 祥明⁷
 " " 三川山 1♀ 28-VI-1999 柴田洋昭¹⁷⁸
 " " 床瀬林道 11卵 15-III-2003⁸⁹⁸
 香美町香住区(香住町) 三川 5卵 11-IV-1977 高田・井出⁷
 " " 三川山 4♂1♀ 29-VI-1991⁷
 香美町小代区(美力町) 熱田 4卵 13-III-1976 高田・井出⁷
 " " 小代スキー場 2卵 -X II-1977 小林健介⁷
 " " 善滝 2卵 -X II-1977 小林健介⁷
 香美町村岡区(村岡町) 小城 数卵 4-X II-1983 広畑政巳⁷
 " " 大笹 1♀ 30-VI-1984 福井丈嗣⁷
 " " 蘇武岳山頂 2♀ 25-VI-1983 前平照雄⁷
 新温泉町(温泉町)海上 6卵 30-X-1977 高田・井出⁷
 " " 肥前畑 3卵 30-X-1977 高田・井出⁷
 " " 上山高原 1♀ 28-VI-1991 永幡嘉之⁷
 " " 小ツッコ 2♂ 29-VI-1991 永幡嘉之⁷
 " " 菅原 2卵 9-IV-1978 佐々木薫⁷
 " " 扇ノ山⁷
 朝来市生野町栲原 1♂ 9-VII-1979 近藤伸一⁷
 " " 栲原~千町峠 9卵 4-X-2001⁷⁸²
 " " 黒川 22卵 18-I-2001⁷⁷⁵
 養父市八鹿町妙見 1♂ 24-VI-2001 近藤伸一⁷
 養父市大屋町横行 2卵 16-X II-1979 近藤伸一⁷
 " " 天滝 1♀ 4-VII-1970 木下賢司⁷
 " " 杉ヶ次⁷
 養父市(関宮町)須賀ノ山 2♂ 3-VII-1977 高田・井出⁷
 " " 福定 3♂ 14-VII-1991 永幡嘉之⁷
 " " 大久保⁷
 " " 杉ヶ次高原 2♂ 27-VI-1977 高田・井出⁷
 篠山市三嶽山南麓 2♂ 6-VII-1999 浜 祥明⁶⁸⁴
 " 大野山 1♀ 17-VII-1999 浜 祥明⁶⁸⁴
 " 弥十郎ヶ岳 1♂ 8-VII-2001 浜 祥明⁶⁸¹

36 ウラジロミドリシジミ

(Favonius saphirinus)

■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国大陸からウスリー、アムールに分布し、国内では北海道、本州、四国、九州 ナラガシワ、カシワを食樹として、北海道、本州、四国、九州に分布している。県内では図のとおり西播磨地域南部と大阪府に接した川西市、猪名川町に分布が集中し、但馬地域には広く点在する。新温泉町(浜坂町)の海岸部が北限の生息地で、南部に広い分布の空白地帯があるが、淡路北部にも卵の採集記録がある。

■ 生息環境

ナラガシワの生える二次林を生息地とするが、例外的に日本海に面した新温泉町(浜坂町)付近のカシワ林に生息している個体群がある。

生息地の標高は200m以下が中心となり、600mが標高の上限のようである。

■ 生態

【成虫の発生時期】

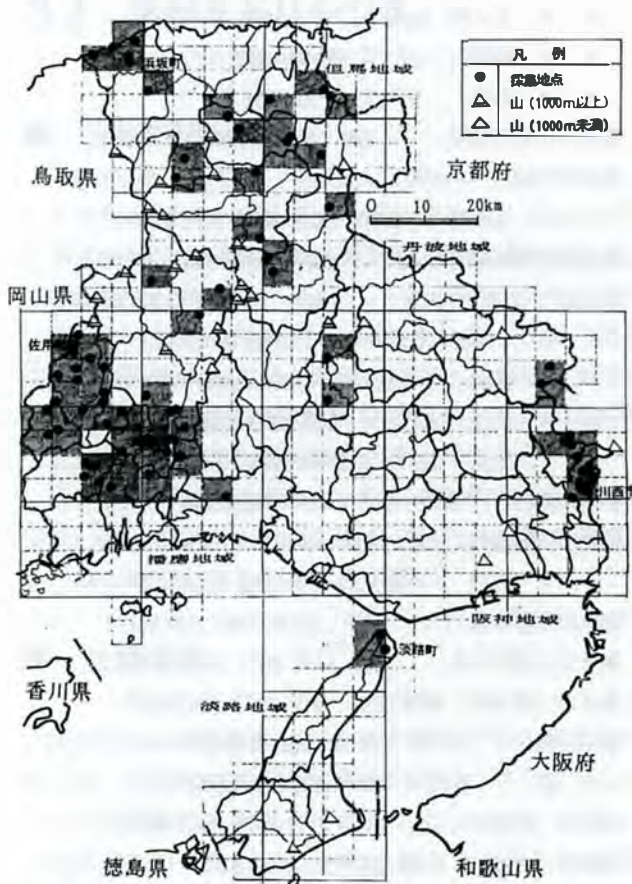
成虫は年1回発生する。産卵は1~数卵づつナラガシワなどの休眠芽付近や小枝の窪みや分岐部などに産み付けられる。卵のまま越冬し、翌春新芽が吹く頃から孵化を始める。

成虫は6月上旬ごろから見られるが、発生のパークは6月中旬で7月上旬ごろまで見られる。

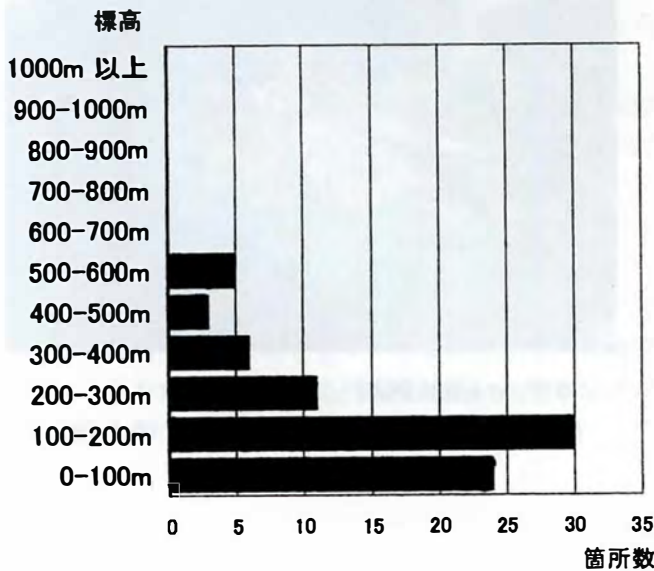
【幼虫の食餌植物】

ナラガシワを食樹とするが、カシワを食樹としている産地もある。日本海に面した地域でカシワを食樹としている産地は永幡嘉之(2000)によると新温泉町(浜坂町)居組、城山、田井の3箇所であるが、日本海側の内陸部の香美町村岡区(村岡町) 兎和野、大笹でもカシワから確認されている。しかしそれ以外は全てナラガシワを食樹としている。

カシワの日本海側海岸部における分布は、新温泉町



ウラジロミドリシジミの県内分布



ウラジロミドリシジミの垂直分布

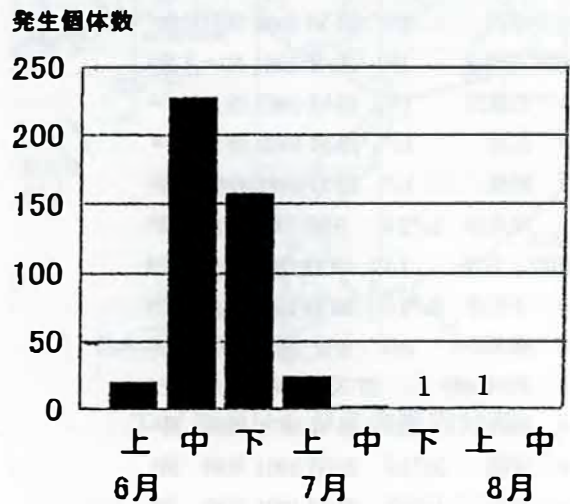
(浜坂町)以外では豊岡市から鳥取県東伯郡泊村に至る広い範囲で認められるが、未調査でまだそれらの地域から本種は発見されていない。

瀬戸内側の産地は全てナラガシワで、宍粟市千種町日名倉山にはカシワが分布するが、本種は発見されていない。

【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物はクリだけである。

ウラジロミドリシジミの周年経過



■ 採集記録

- 川西市笹部 1♀ 22-VI-1952 若林ほか⁶
- 〃 一の鳥居 2♀ 14-VI-1974 松浦 徹⁶
- 〃 西畦野 3♀ 28-VI-1981 有田 斉⁶
- 〃 東多田 1♂ 7-VI-1987 川元 裕⁶
- 〃 移瀬 1幼虫 5-V-1985 有田 斉⁶
- 〃 西多田 10-VII-1966 小坂利明⁶
- 〃 平野⁶
- 〃 花屋敷満願寺の川西飛地⁶
- 〃 鼓ヶ滝・出合・多田⁶
- 猪名川町仁部 5卵 9-I-1983 近藤伸一⁶
- 〃 阿古谷 2♂2♀ 2-VII-1960 若林ほか⁶
- 〃 内馬場 21-VI-1981⁶
- 〃 三草山⁶
- 多可町加美区(加美町)的場 12卵 10-X-1978 福田洋一⁶

多可町八千代区(八千代町)赤坂 8卵 10-X-1978 喜多舒彦⁶
 姫路市元町 相坂耕作⁶
 姫路市林田町六九谷 尾崎 勇⁶
 姫路市安富町植木野 1卵 6-III-1977 梶谷 徹⁶
 たつの市(龍野市)平木5卵 18-X II-1977 福原ほか⁶
 たつの市新宮町千本 数卵 15-I-1984 近藤伸一⁶
 " " 牧 数卵 15-I-1984 近藤伸一⁶
 " " 二柏野 5卵 6-VI-1985 広畑政巳⁶
 " " 新宮 10♂6♀ 15-VI-1963 岩村 巖⁶
 宍粟市山崎町須賀沢 12卵 22-II-1984 広畑政巳⁶
 " " 蟹ヶ沢 1幼虫 14-V-1978 井出敏晴⁶
 " " 青木 6卵 19-I-1980 岩村 巖⁶
 宍粟市一宮町井ノ内 20卵 3-IV-1977 若林・高田⁶
 " " 福中 尾崎 勇⁶
 宍粟市波賀町音水 4♀羽化 25-IV-1968 尾崎 勇⁶
 相生市小河 1♀ 21-VI-1966 米村和繁⁶
 上郡町小野豆 1卵 22-II-1984 佐々木薫⁶
 " 白旗山 1♀ 15-VI-1967 唐土洋一⁶
 " 広根 1♂ 19-VI-1966 唐土洋一⁶
 " 野桑 1♂ 19-VI-1977 井出敏晴⁶
 " 尾長谷 1♂2♀ 8-VI-1997 井出敏晴⁶
 佐川町上石井 1♂ 15-VI-1975 広畑政巳⁶
 " 下石井 3♂1♀ 16-VI-1974 広畑政巳⁶
 " 青木 2卵 8-III-1981 広畑政巳⁶
 " 若州 4卵 27-X I-1983 広畑政巳⁶
 " 海内 1♂ 16-VI-1974 尾崎 勇⁶
 " 平福 3♂1♀ 22-VI-1961 尾崎 勇⁶
 " 平谷 1♂2♀ 21-VI-1961 尾崎 勇⁶
 " 佐川坂 2♂1♀ 18-VI-1977 高田・井出⁶
 佐川町(上月町)下秋里 1♂ 15-VI-1975 広畑政巳⁶
 " " 上秋里 1♂ 16-VI-1974 広畑政巳⁶
 " " 久崎 21♂6♀ 16-VI-1963 岩村 巖⁶
 " " 円光寺 4♂1♀ 12-VI-1997⁶
 " " 中山 1♀ 14-VI-1997 大東康人⁶
 " " 尾崎 1♀ 29-VI-1997 大東康人⁶
 佐川町(南光町)乙原 4卵 27-X-1976 梶谷 徹⁶
 " " 東徳久城山田倉谷 春井博文⁶
 " " 上三河 1♂ 12-VI-1982 高島 昭⁶
 " " (旧三河村) 1♀ 14-VI-1959 中谷貴寿⁶
 佐川町(三日月町)弦谷 16♂3♀ 15-VI-1963 岩村 巖⁶
 " " 本郷 6卵 26-X I-1978 高田忠彦⁶
 豊岡市福成寺 2♀ 3-VII-1978 木下賢司⁶
 " 奥野 1♂ 9-VI-1983 前平照雄⁶
 " 法花寺 2卵 16-X-1978 高田忠彦⁶
 豊岡市日高町鶴岡 1♀ 19-VI-1979 木下賢司⁶
 " " 栃本 1♀ 19-VI-1979 木下賢司⁶

" " 上ノ郷 5♂1♀ 9-VI-1982 前平照雄⁶
 " " 神鍋山 1♂1♀ 22-VI-1997⁶
 " " 名色 1♂1♀ 17-VI-2001³⁷⁾
 豊岡市出石町榎見 6卵 16-X-1977 高田忠彦⁶
 香美町村岡区(村岡町)大笹 1♂ 7-VII-1984 前平照雄⁶
 " " 兎和野 10卵 -X I-1978 若林ほか⁶
 新温泉町(温泉町)歌長 20卵 17-IX-1978 高田ほか⁶
 新温泉町(浜坂町)田君 6卵 19-III-1977 高田忠彦⁶
 " " 三谷2卵(ナガシ)15-I-1992 黒井和之⁶
 " " 城山 17卵 15-I-1992 永幡・黒井⁶
 " " 田井 1♂(カシ) 1-VII-1993 永幡嘉之⁶
 " " 居組 1♂(カシ) 29-VI-1992 川元 裕⁶
 和山山野村 18卵 3-X I-1977 高田忠彦⁶
 朝来市(朝来町)土肥 10卵 29-X II-1977 高田忠彦⁶
 " " 佐中 1卵 23-X I-1982 広畑政巳⁶
 朝来市生野町黒川 12卵 24-III-1985 入江ほか⁶
 養父市八鹿町小佐 6卵 14-X-1977 高田・井手⁶
 養父市(養父町)建屋1幼虫 5-V-1977 高田忠彦⁶
 篠山市福住 1♂1♀ 23-VI-1963 喜多舒彦⁶
 " 原 1♂1♀ 29-VI-1964 喜多舒彦⁶
 淡路市(淡路町)谷山 13卵 8-X-1978 福原・梶谷⁶
 淡路市(北淡町)江崎 10卵 31-X-1978 高田・井手⁶



ウラジロミドリシジミ

佐川町(上月町)にて撮影 2004年6月13日 立岩幸雄

37 エゾミドリシジミ

(*Favonius jezoensis*)

■ 分布の状況

日本特産種で、北海道、本州に分布し、ジョウザンミドリシジミと同様に本州南西部では山地性となり、産地は限られる。

県内では但馬西部の氷ノ山・鉢伏山・扇ノ山及び妙見山・蘇武岳・三川山山系と西部の床尾山及び播州高原に生息している。香美町香住区（香住町）三川が北限の生息地で、朝来市生野町柘原が南限である。

近年県南西部に近接した大阪府能勢町で生息が確認され、次いで猪名川町でも発見された。同様の環境をもつ篠山市でも生息の可能性が高い。

■ 生息環境

標高300mから900mのミズナラ林が主な生息地であるが、南部の大阪府や猪名川町ではコナラを中心とした広葉樹林にも生息している

垂直分布は100mから1,000 m以上まで見られ、標高に対する適応力は意外にありそうである。

■ 生態

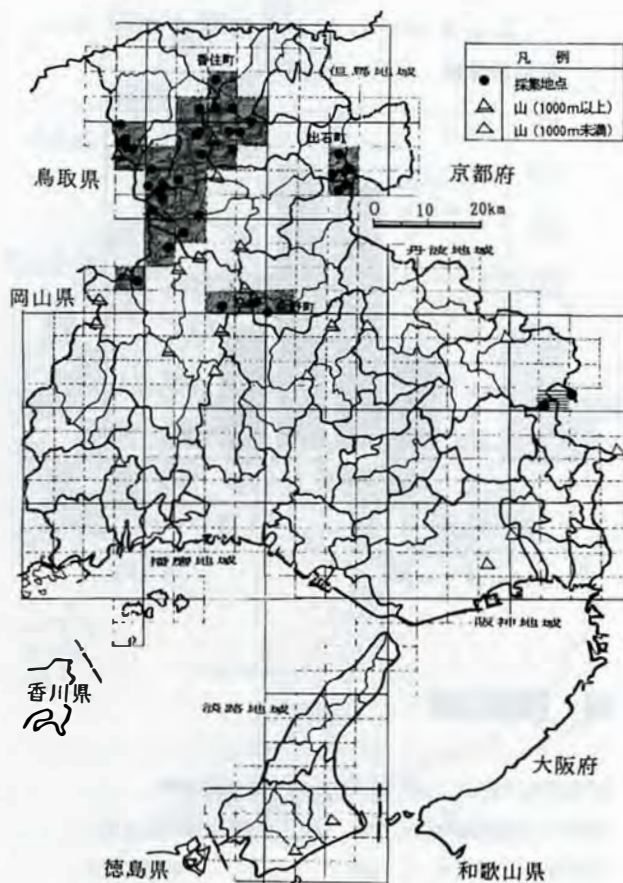
【成虫の発生時期】

成虫は年1回発生する。産卵は小枝から太い幹に産み付けられる。卵のまま越冬し、翌春、新芽が吹くころから孵化を始める。

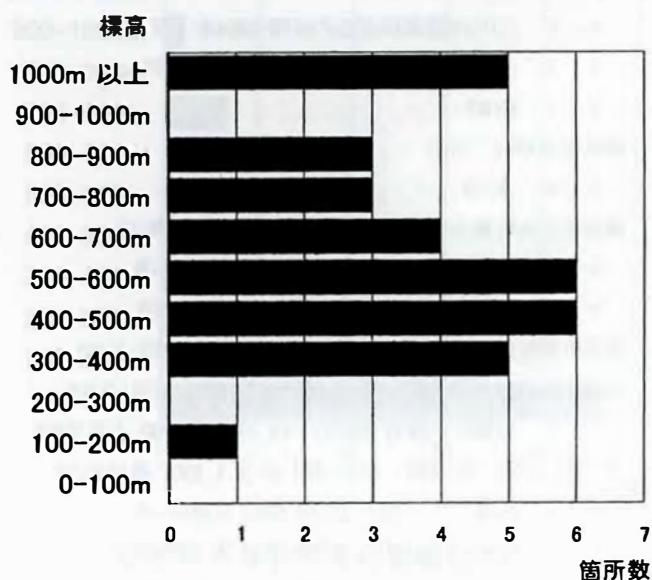
成虫は6月中旬ごろから見られるが、発生ピークは7月上旬で7月下旬ごろまでみられる。また10月近くになっても、新鮮な個体を見ることがあるという。

【幼虫の食餌植物】

卵はほとんどがミズナラから見つかったているが、大阪府ではコナラを食樹としているようであり、県内でもコナラを食樹としている可能性は高い。ウラジロガシからも卵が採集された記録がある。

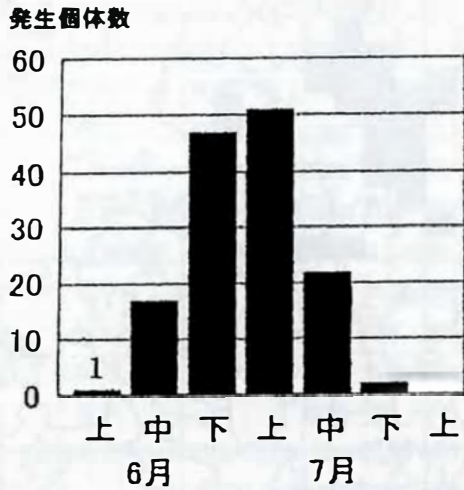


エゾミドリシジミの県内分布



エゾミドリシジミの垂直分布

エゾミドリシジミの周年経過



■ 採集記録

- 猪名川町大野山 1♂ 2-VI-1999 森地重博⁶⁸⁴
- 神河町(大河内町)砥ノ峰 1卵 11-III-2001⁷⁷⁷
- 宍粟市一宮町草木 1卵 徳岡正巳⁶
- 宍粟市波賀町赤西溪谷 3卵 3-X I-1977 白井祐一⁶
- 〃〃戸倉 4♂ 25-VI-1991 高島 昭⁶
- 豊岡市城崎町来日岳 1♂ 16-VI-2001 ³⁷³
- 豊岡市日高町金屋 3令幼虫 5-V-1976 高田・井出⁶
- 〃〃名色林道 2♂2♀ 3-VII-1978 木下賢司⁶
- 〃〃三川山(稲集林道)2♂1♀ 6-VII-1984 木下賢司⁶
- 〃〃山宮(大岡山)2♂ 15-VI-1983 前平照雄⁶
- 〃〃栃本⁶
- 豊岡市竹野町三川山 95卵 11-III-2001⁷⁷⁷
- 〃〃水山⁶
- 豊岡市出石町奥山 2♂ 28-VI-1984 木下賢司⁶
- 〃〃東床ノ尾山 1♀ 26-VI-1978 木下賢司⁶
- 〃〃桐野 2♂ 18-VI-1983 高島 昭⁶
- 香美町香住区(香住町) 三川1卵 11-IV-1977 高田・井出⁶
- 香美町小代区(美方町) 熱田 5卵 5-IV-1976 高田・井出⁶
- 〃〃秋岡小代溪谷 3卵(7卵? 幼?) 7-X-1992 吉富章雄⁶
- 香美町村岡区(村岡町) 村岡 6卵 29-X I-1977 高田忠彦⁶
- 〃〃小城 3卵 27-III-1983 近藤伸一⁶
- 〃〃耀山 1♂2♀ 14-VII-1978 木下賢司⁶
- 〃〃大笹 1♂ 30-VI-1984 福井丈嗣⁶
- 〃〃村岡坂中 1♂ 9-VII-1993 永幡嘉之⁶
- 新温泉町(温泉町) 上山高原 1卵 6-IX-1981 木村三郎⁶

- 〃〃上山 4♂3♀ 26-VI-1983 黒井和之⁶
- 〃〃菅原 1♂ 10-VII-1983 黒井和之⁶
- 〃〃海上 10卵 30-X-1977 高田・井出⁶
- 〃〃霧ヶ滝 1卵 14-IV-1991 永幡嘉之⁶
- 〃〃小ツッコ 1♂1♀ 29-VI-1991 永幡嘉之⁶
- 朝来市和田山町糸井溪谷 5♂ 1-VII-1975 高田・井出⁶
- 〃〃竹ノ内 2♂ 21-VI-1977 木下賢司⁶
- 朝来市生野町栃原 3♂ 13-VII-1980 近藤伸一⁶
- 〃〃栃原~千町峠 3卵 4-X-2001⁷⁸²
- 〃〃段ヶ峰 1♂ 18-VII-1967 尾崎 勇⁶
- 養父市(関宮町) 須賀ノ山 12♂ 3-VII-1977 高田忠彦⁶
- 〃〃氷ノ山東尾根 1♀ 23-VII-1991 永幡嘉之⁶
- 〃〃福定 1♂ 8-VII-1992 永幡嘉之⁶
- 〃〃鉢高原 1♂ 7-VII-1993 永幡嘉之⁶
- 〃〃鉢伏山 1♂ 23-VII-1964 大東康人⁶
- 養父市大屋町横行 5卵(未?) 2-X II-1984 広畑政巳⁶
- 〃〃杉ヶ沢 1♂ 20-VI-1965 木下賢司⁶



エゾミドリシジミ

香美町村岡区にて撮影 2003年6月22日 立岩幸雄

38 オオミドリシジミ

(*Favonius orientalis*)

■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国大陸からアムール、ウスリーに分布し、国内では北海道、本州、四国、九州に分布する。

兵庫県版レッドデータブックでは地域限定貴重種で、淡路島でCランクに選定されている

県内では、山地から平地にかけてほぼ全域に点在し、分布の範囲は広い。淡路島ではコナラ、アベマキが広く分布し、生息環境は他の地域と変わりが無いように思われるが、個体数は極めて少ないようで、古い採集記録が数例あるだけである。

■ 生息環境

垂直分布は標高 300mまでの低山地や平地のコナラ、アベマキなどの2次林が主な生息地であるが、成虫は1,000 m以上の場所でも採集されている。

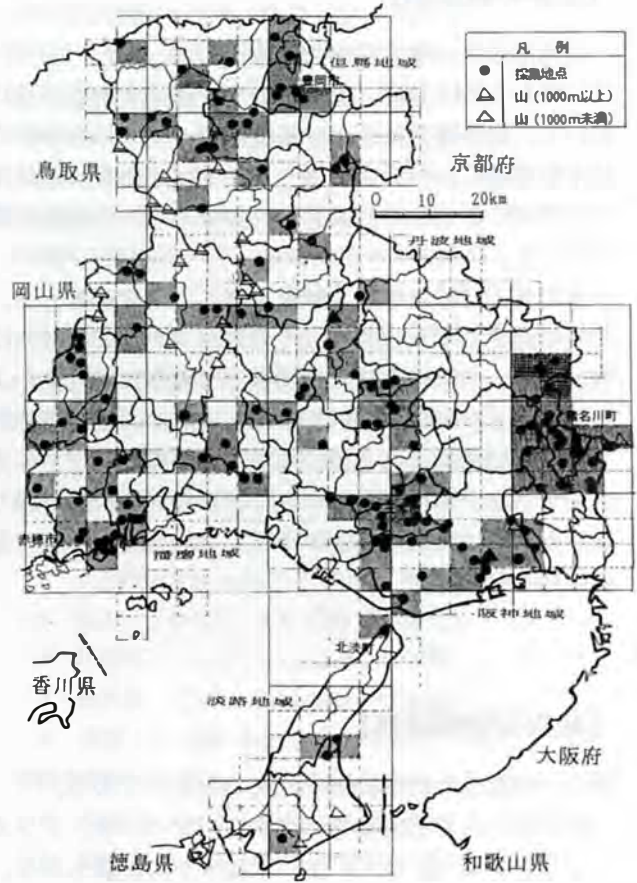
林縁部や山林内の歩道など林内に出来る開けた空間に生えるコナラ、アベマキなどの幼木やひこ生えで卵や幼虫が見つかる。

■ 生態

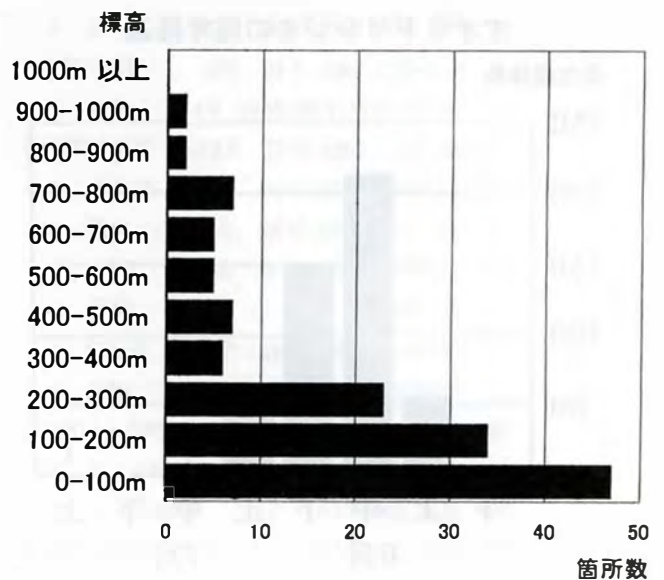
【成虫の発生時期】

成虫は年1回発生する。産卵は小枝の分岐部などに産み付けられる。卵のまま越冬し、翌春新芽が吹く頃から孵化を始める。

成虫は6月上旬ごろから見られるが、発生のパークは6月中旬で7月上旬ごろまで見られる。



オオミドリシジミの県内分布



オオミドリシジミの垂直分布

【産卵の観察例】

谷角素彦氏の豊岡市での観察例では、6月下旬の午前11時から約20分間、雑木林の中を通過する遊歩道において、遊歩道に生えている樹高30~50cmのコナラの幼木を中心に、林の中に潜り込んでまた遊歩道に飛び出してくるという行動を、半径2mぐらいの範囲で繰り返した。

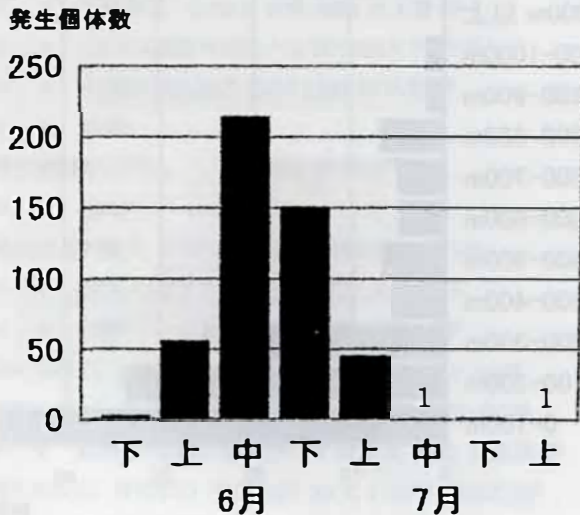
木の葉上に静止すると触覚を盛んに上で運動させ、左右の翅をこすり合わせ、その木がコナラでなければ飛び立ち、コナラの場合は前進して葉裏に潜り込むように枝にとり付き、頭部を下にして腹部を曲げて産卵した。産卵を終えると飛び立ち、途中墓石などで日光浴をするなどの行動をはさみながら、同じ行動を繰り返した。卵は直径1~3mmの小枝の分岐部及び休眠芽基部に産み付けた。

【幼虫の食餌植物】

県内で確認された食餌植物は次のとおりである。

卵はほとんどが落葉性のコナラ、アベマキ、ナラガシワなどで見ついている。常緑カシの記録もあり、アラカシのひこ生えで幼虫が採集され、ウラジロガシの枝の分岐部や休眠芽の基部でも卵が採集されている。

オオミドリシジミの周年経過



【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物は次のとおりである。
(ブナ科)クリ、(モクセイ科)イボタ、セイヨウイボタ、ネズミモチ

■ 採集記録

- 川西市黒川 1ex目撃 30-VI-1997 木下修一⁶
- 〃 笹部 1♂1♀ 15-VI-1985 櫻原俊嗣⁶
- 〃 鼓ヶ滝・多田⁶
- 〃 東谷⁶
- 三田市大磯 1♂1♀ 16-VI-1963 若林守男⁶
- 〃 貴志御霊神社 2♂31-V-1998³⁵⁶
- 猪名川町三草山 1♀ 22-VI-1986 緒方正雄⁶
- 〃 上原 1♂ 15-VI-1988 松井賢慈⁶
- 〃 槻並 24-VI-1973 小坂利明⁶
- 〃 銀山 29-VI-1975 小坂利明⁶
- 〃 内馬場 27-VI-1976 小坂利明⁶
- 〃 清水 18-VI-1978 小坂利明⁶
- 〃 仁頂寺 15-VI-1980 森地重博⁶
- 〃 上阿古谷 21-VI-1981 勝屋 潤⁶
- 〃 柏原(大野山) 4-VII-1982 小坂利明⁶
- 〃 栃原(大谷) 30-VI-1984 小坂利明⁶
- 〃 木津北 2♂ 14-VI-1992⁶
- 〃 紫合1ex羽化 29-V-1993近藤高明⁶
- 〃 内馬場 1♀ 19-VI-1988 高橋邦明²⁶⁵
- 〃 清水 1♀ 17-VI-1990 高橋邦明²⁶⁵
- 〃 木間生 6卵 24-III-2000⁷⁶⁵
- 〃 下阿古谷・木間生⁶
- 宝塚市武田尾 1♂1♀ 24-VI-1951 田中 椿⁶
- 〃 榎峠 1-VII-1979⁶
- 〃 島ヶ脇 20-VI-1980⁶
- 〃 西谷西部 1-VII-1978⁶
- 〃 大船山麓 13-VI-1978⁶
- 〃 波豆~三田市木器 26-VI-1977⁶
- 〃 大原野 6卵 12-II-2003⁶⁹⁷
- 芦屋市奥山石室殿付近 2♂1♀ 10-VII-1983 西 隆広⁶
- 〃 城山 西 隆広⁶
- 【神戸市】
- 六甲山 1♀ 28-VI-1959 尾崎 勇⁶
- 六甲山油壺 1♂ 13-VI-1960⁶
- 摩耶山 1♂ 6-VII-1951⁶

- 東灘区住吉 2♂ 19-VI-1957⁶
 中央区市ケ原 1♀ 21-VI-1964 三木進一⁶
 " 布引 1♀ 14-VI-1953⁶
 " 諏訪山 1♂ 28-VI-1978 近藤伸一⁶
 北区山田町山の街 2♂ 12-VI-1959 尾崎 勇⁶
 " " 西脇山 3卵 16-II-2002⁸⁹⁵
 " 丹生山 3♂5♀ 18-VI-1961 尾崎 勇⁶
 " 帝釈山 1♀ 9-VII-1983 住田正雄⁶
 " 再度山・有馬⁶
 西区玉津町 1♀ 21-VI-1959 尾崎 勇⁶
 " 押部谷 1♀ 1-VII-1962 尾崎 勇⁶
 " 大山寺 2♀ 16-VI-1962 尾崎 勇⁶
 " 神出町 1♀ 13-VI-1980 高島 昭⁶
 " 神出町山西 2♂ -VI-1993 大東康人⁶
 " 神出町吉生 1♂ -VI-1993 大東康人⁶
 明石市東山町 2♀ 7-VII-1962 大東康人⁶
 三木市志染町戸田 1♂ 22-VI-1986 永幡嘉之⁶
 " 細川町増田 VI-1976 小倉 滋⁶
 " 大谷 VI-1976 小倉 滋⁶
 " 鍛冶(細川町垂穂) VI-1976 小倉 滋⁶
 " 密屋 VI-1976 小倉 滋⁶
 " 本町 6-VI-1976 高橋久夫⁶
 " 大村 1♂ 7-VI-1987 永幡嘉之⁶
 " 福井三木山 1卵 15-I-1986 近藤伸一⁶
 " 御坂 1♀ 17-VI-1990 芝 直幸⁶
 " 殿畑 2♀ 19-VI-1989 永幡嘉之⁶
 " 高畑 1♀孵化 11-VI-1957 若林守男⁶
 加古川市志方町奥新田 1♂4-VI-1994 大東康人⁶
 " " 雑郷 6-I-2001⁸⁵⁰
 " " 西牧 19卵 11-I-2003⁸⁶⁸
 " " 長室 10卵 11-I-2003⁸⁶⁸
 小野市櫻山町 卵幼虫多数(7ヘマ)16-IV-1978 近藤伸一⁶
 " 下来住⁶
 加西市桑原田 1♂ 2-VII-2002⁸⁴⁶
 西脇市武島 平田善範⁶
 西脇市黒田庄町喜多 4-VI-1959⁶
 加東市(社町)池之内 1卵 11-II-1985 近藤伸一⁶
 多可町中区(中町)中村 3♂3♀ 14-VI-1961 尾崎 勇⁶
 多可町加美区(加美町)奥荒田 5-VII-1958⁶
 姫路市林田町伊勢 1♀ 12-VI-1976 梶谷 徹⁶
 " 広峰 1ex 10-VI-1975 黒田 収⁶
 " 砥堀 2卵 24-III-1976 井出敏晴⁶
 " 京見山 1♀1-VII-1998 稲田和久⁴⁸³
 " 西蒲田 1♂1♀15-VI-1980稲田和久⁴⁸³
 姫路市夢前町山富 佐々木薫⁶
 " " 小坪 2卵 26-II-1977 高田・井出⁶
 姫路市安富町塩野 1♀ -VI-1950 松井俊公⁶
 市川町下加瀬 1♂2♀ 27-VI-1993 広畑政巳⁶
 " 上牛尾 3♂2♀ 27-VI-1993 広畑政巳⁶
 " 下牛尾 1♂1♀ 27-VI-1993 広畑政巳⁶
 福崎町山田 2♀ 8-VII-1975 広畑政巳⁶
 神河町(神崎町)千ヶ峰 1♂ 12-VII-1964 大東康人⁶
 神河町(大河内町)砥峰 1♀ 24-VII-1975 井出敏晴⁶
 宍粟市一宮町福知 1♀ 25-VII-1972 井出敏晴⁶
 " " 福中 尾崎 勇⁶
 宍粟市波賀町赤西 2幼虫 12-V-1985 広畑政巳⁶
 " " 水谷 1幼虫 14-V-1978 井出敏晴⁶
 宍粟市千種町三室山山麓 1卵 29-X-1977高田・井出⁶
 " " 鷹巣 1幼虫 19-V-1985 近藤伸一⁶
 相生市矢野町三濃山2♀ 20-VI-1974 岩村 滋⁶
 " 陸光明山 1♀ 26-VI-1967 米村和繁⁶
 " 大谷町天下台 2♂2♀ 6-VI-1963 滝井邦興⁶
 " 佐方 5幼虫 6-V-1978 広畑政巳⁶
 " 川原町 1♂ 2-VI-1970 米村和繁⁶
 " 緑ヶ丘 1♀ 18-VI-1967 中浜春樹⁶
 " 高原 4卵 6-II-1977 高田・井出⁶
 赤穂市春日 1幼虫 2-V-1983 近藤伸一⁶
 " 丸山 1♂ 8-VI-1963 西垣憲治⁶
 " 尾崎 5♂1♀ 9-VI-1963 岩村 滋⁶
 " 官原 1♂1♀ 16-VI-1973 松村邦正⁶
 " 坂越 2♀ 13-VI-1973 岩井信彦⁶
 " 北野中 2♂ 12-VI-1964 岩村 滋⁶
 " 大津 2♂ 13-VI-1965 岩村 滋⁶
 " 折方 1♀ 24-VI-1965 岩村 滋⁶
 上郡町行頭 2卵 19-II-1984 近藤伸一⁶
 " 野桑 4♀ 19-VI-1977 高田・井出⁶
 佐用町上石井 1♂1♀ 17-VI-1962 岩村 滋⁶
 " 下石井 1♂ 16-VI-1974 広畑政巳⁶
 " 青木 2♂1♀ 22-VI-1963 岩村 滋⁶
 " 中山 2幼虫 29-IV-1994 大東康人⁶
 " 平福 尾崎 勇⁶
 " 佐用坂 1♂ 13-VI-1977 井出敏晴⁶
 " 大船 1♀ 17-VI-1976 井出敏晴⁶
 佐用町(上月町)久崎 1♂ 30-VI-1962 岩村 滋⁶
 " " 下秋里 1♀ 25-VI-1979 広畑政巳⁶
 " " 西新宿 1♂ 15-VI-1995 高島 昭⁶
 佐用町(南光町)徳久 1♀ 24-VI-1973 尾崎 勇⁶
 佐用町(三日月町)弦谷 13♂1♀ 15-VI-1963 岩村 滋⁶
 豊岡市妙楽寺 4♂ 17-VI-1974 木下賢司⁶
 " 高屋(金山)1♂ 12-VI-1980 木下賢司⁶
 " 福成 1♀ 3-VII-1987 木下賢司⁶
 " 宮井 1♀ 17-VI-1979 木下賢司⁶

〃 上佐野	10-VI-1972 ⁶⁴
豊岡市城崎町来日岳	5♂ 24-VI-1979 木下賢司 ⁶
豊岡市竹野町須谷	1♀ 16-VI-1964 小崎茂樹 ⁶
〃 〃 三川山	3♂3♀ 28-VI-1999 戸畑 淳 ¹⁷⁸
豊岡市日高町大岡	1♂ 28-VI-1963 木下賢司 ⁶
〃 〃 栃本	1♂1♀ 16-VI-1985 木下賢司 ⁶
〃 〃 名色林道(蘇武)	2♂ 24-VI-1979 木下賢司 ⁶
〃 〃 三川山	1♂ 28-VI-1987 村松秀行 ⁶
豊岡市出石町桐野(床ノ尾山)	1♀ 5-VII-1978 高田忠彦 ⁶
〃 〃 奥山	2卵 16-X-1977 高田忠彦 ⁶
香美町香住区(香住町)大梶	4卵 20-III-1977 高田忠彦 ⁶
香美町村岡区(村岡町)耀山	1♂ 25-VI-1983 前平照雄 ⁶
〃 〃 金山峠	6♂1♀ 4-VII-1992 ⁶
〃 〃 市原	1♀ 25-VI-1963 小崎茂樹 ⁶
〃 〃 村岡	3卵 29-X-I-1977 高田忠彦 ⁶
〃 〃 相岡	1♀ 25-VI-1992 永幡嘉之 ⁶
香美町小代区(美方町)19(ウツガシ)	13-X-1982 勝屋 潤 ⁶
〃 〃 高丸山	2♂ 7-VII-2001 山岡万寿夫 ⁸²⁶
新温泉町(温泉町)上山	1♂1♀ 26-VI-1983 黒井和之 ⁶
〃 〃 美原	1♀ 2-VII-1983 黒井和之 ⁶
〃 〃 扇ノ山(海上林道)	1♀ 3-VII-1992 永幡嘉之 ⁶
新温泉町(浜坂町)本谷	1♂ 12-VI-1994 永幡嘉之 ⁶
〃 〃 城山	1♀ 9-VII-1993 永幡嘉之 ⁶
朝来市和田山町三波	1幼虫 20-V-1984 広畑政巳 ⁶
〃 〃 藤和	1幼虫 20-V-1984 近藤伸一 ⁶
〃 〃 立雲峽	1♂ 28-VI-1984 木下賢司 ⁶
養父市八鹿町小佐	1卵 14-X-1977 高田・井手 ⁶
〃 〃 妙見	1♀ 7-VII-2001 近藤伸一
養父市(関宮町)杉ヶ沢	2♂ 27-VI-1977 高田・井手 ⁶
篠山市福住	1♂ 23-VI-1963 喜多舒彦 ⁶
〃 弥十郎岳	1♀ 22-VI-1997 浜 祥明 ⁹⁷
〃 籠坊	1♀ 5-VII-1980 ⁹⁷
〃 大野山	3♂ 30-VI-1997 宗像精三郎 ⁹⁷
洲本市安乎町	1♂ 10-VI-1951 堀田 久 ⁶
淡路市(津名町)塩田	1♂ 10-VI-1952 堀田 久 ⁶
淡路市(北淡町)江崎	3卵 31-X-1978 高田・井手 ⁶
南あわじ市(南淡町)大日	1♀ 18-VI-1961 武田義明 ⁶

39 ジョウザンミドリシジミ

(*Favonius taxila*)

■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国大陸からロシア極東地域に分布し、国内では北海道、本州に分布する。本州中部の太平洋側及び南西部では山地性となり、産地は限られる。

県内では西播磨地域北部から但馬地区にかけて点在している。但馬西部の高標高地域では個体数は比較的多いが、その他の地域では生息地が局限され、個体数も少ない。

新温泉町(浜坂町)本谷が現在確認されている北限の生息地で、佐用町日名倉山が南限である。

■ 生息環境

標高 400mから 800mのミズナラ林が主な生息地であるが、成虫は1,000 m以上の場所でも採集されている。また新温泉町(浜坂町)本谷の 350m付近で採集された成虫の記録が現在確認されている。

■ 生態

【成虫の発生時期】

成虫は年1回発生する。産卵は休眠眼に1～数卵ずつ産み付けられる。卵のまま越冬し、翌春新芽が吹く頃から孵化を始める。

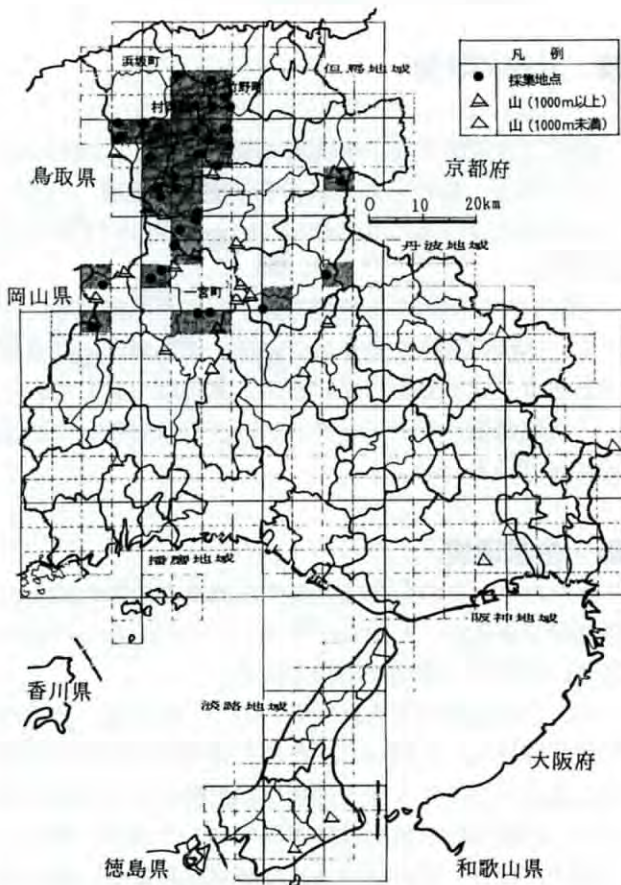
成虫は6月中旬ごろから見られるが、発生のピークは7月上旬で7月下旬ごろまで見られる。

【幼虫の食餌植物】

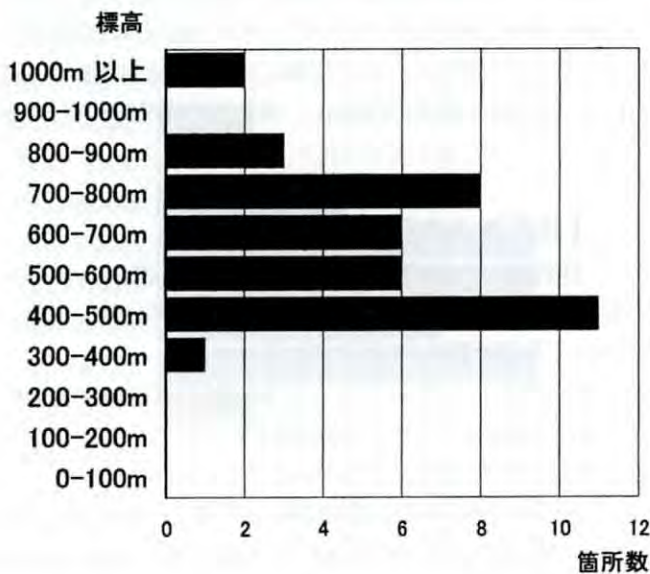
卵はほとんどがミズナラから見つかっており、コナラから採集された記録は明らかでない。但馬地域ではミズナラとコナラが混在しており、よく調査すればコナラからも卵は見つかるものと思われる。ウラジロガシから卵が採集された記録がある。

【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物はクリだけである。



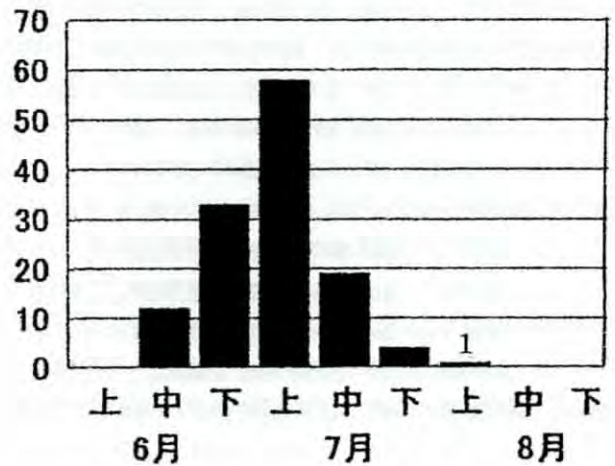
ジョウザンミドリシジミの県内分布



ジョウザンミドリシジミの垂直分布

ジョウザンミドリシジミの周年経過

発生個体数



■ 採集記録

- 神河町 (大河内町) 砥ノ峰 34卵 11-III-2001⁷⁷⁷
- 宍粟市波賀町音水 1♂1♀ 9-VII-1967 喜多舒彦⁶
- 〃 〃 道谷 3卵 15-IV-1978 高田 白⁶
- 〃 〃 引原 3♂ 22-VI-1989 高島 昭⁶
- 宍粟市一宮町福知 3卵 13-III-1977 若林 高田⁶
- 〃 〃 福中 1♂羽化 23-V-1980 尾崎 勇⁶
- 宍粟市千種町天児屋 1卵(♂ナ) 25-X I-1984 広畑政巳⁶
- 佐用町日名倉山 1♂ 4-VII-1971 喜多舒彦⁶
- 豊岡市日高町稲葉三川山 1♂ 17-VII-1993 大東康人⁶
- 〃 〃 三川山 4♂ 16-VII-1984 福井丈嗣⁶
- 〃 〃 金屋 8卵 14-III-1976 若林・高田⁶
- 〃 〃 名色林道(蘇武岳) 5♂ 8-VII-1979 木下賢司⁶
- 〃 〃 羽尻H950 8♂ 7-VII-2001 近藤伸一⁶
- 〃 〃 阿瀬溪谷 14卵 9-X II-2001⁸⁰⁷
- 豊岡市竹野町三原 2卵 18-X II-1977 高田忠彦⁶
- 〃 〃 三川山 4♂ 28-VI-1999 戸苅 淳¹⁷⁸
- 〃 〃 水山⁶
- 香美町香住区 (香住町) 三川 5卵 11-IV-1977 高田・井出⁶
- 香美町村岡区 (村岡町) 小城 2卵(♂ナ) 27-III-1983 近藤伸一⁶
- 〃 〃 耀山 1♂ 30-VI-1984 木下賢司⁶
- 〃 〃 大笹 5♂ 9-VII-1984 木下賢司⁶
- 〃 〃 相岡 1♂ 19-VI-1983 黒井和之⁶

- // // 村岡 2卵 29-X I・1978 高田忠彦⁶
 香美町小代区(美方町)善滝 2卵 29-X I・1977 高田忠彦⁶
 // // 熱田 5卵 10-IV・1977 高田・井出⁶
 新温泉町(温泉町)海上林道 4卵(ミヅナ) 6-IX・1981 近藤伸一⁶
 // // 上山 1♂ 8-VII・1984 黒井和之⁶
 // // 小ヅッコ 2♂ 29-VI・1991 永幡嘉之⁶
 新温泉町(浜坂町)本谷 3♂3♀ 25-VI・1993 永幡嘉之⁶
 朝来市生野町栃原2卵(ミヅナ)23-X I・1982 広畑政巳⁶
 // // 黒川 2卵 24-III・1985 入江照夫⁶
 朝来市和田山町糸井溪谷 1♂ 29-VI・1975 喜多舒彦⁶
 養父市大屋町横行 4卵 2-X II・1984 広畑政巳⁶
 // // 天滝 2♂ 27-VI・1989 高島 昭⁶
 // // 杉沢高原 1♂1♀ 2-VII・1994 大東康人⁶
 養父市(関宮町)氷ノ山 1♀ 4-VII・1972 木下賢司⁶
 // // 別宮 4卵 20-X I・1977 高田忠彦⁶
 // // 杉沢 1♂ 27-VI・1977 高田・井出⁶
 // // 福定 2♂ 14-VII・1991 永幡嘉之⁶
 // // 鉢高原 1♂ 12-VII・1992 永幡嘉之⁶
 養父市八鹿町妙見 2卵 14-X・1977 高田・井出⁶



ジョウザンミドリシジミ

豊岡市日高町三川山 2002年7月12日撮影

40 ハヤシミドリシジミ

(*Favonius ultramarinus*)

■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国東北部に分布し、国内の分布は北海道、本州、九州に分布するが、近畿、中国の太平洋側及び四国には生息しない。産地はいずれも局限される

県内では、但馬の丘陵地帯を中心に西播磨地域にかけて、内陸の高原に分布している。但馬海岸には食樹であるカシワが分布しているが、本種は生息していない。兵庫県版レッドデータブックではBランクに選定されている。

■ 生息環境

県内のカシワの分布は但馬や西播磨の丘陵地帯と山陰海岸であるが、ハヤシミドリシジミの分布は内陸の高原に限られ、産地は局限される。

カシワは伐採や火入れに強いので、草刈場、放牧地などに疎林として残っていたが、近年の土地利用の変化によってこのような土地利用の形態は近年急速に減少し、放置された箇所は後から生長した樹木に覆われて森林となり、また伐採された跡地は針葉樹の植林地となり、ハヤシミドリシジミが生息するような明るい高原のカシワの疎林は局限され、かろうじて残された区域もパラグライダー基地や高原を活用した野外施設などに利用され、減少の一途である。

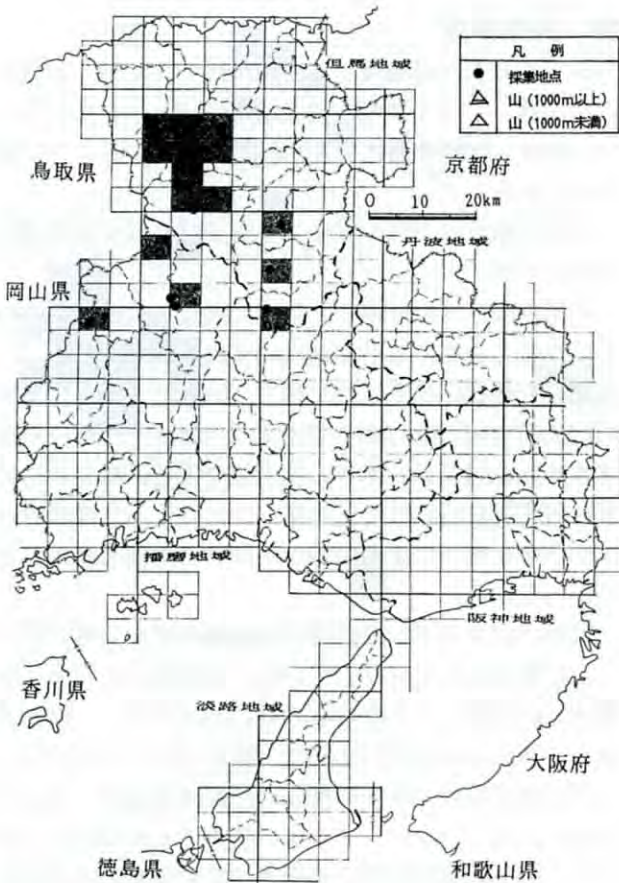
現在カシワ林が残る生息地には比較的個体数が多いため、あまり注目されていないが、気が付けば絶滅していたという時が、近い将来に来る可能性は極めて高い。生息地の標高は300m～600mが分布の中心である。

【日名倉山の現状】

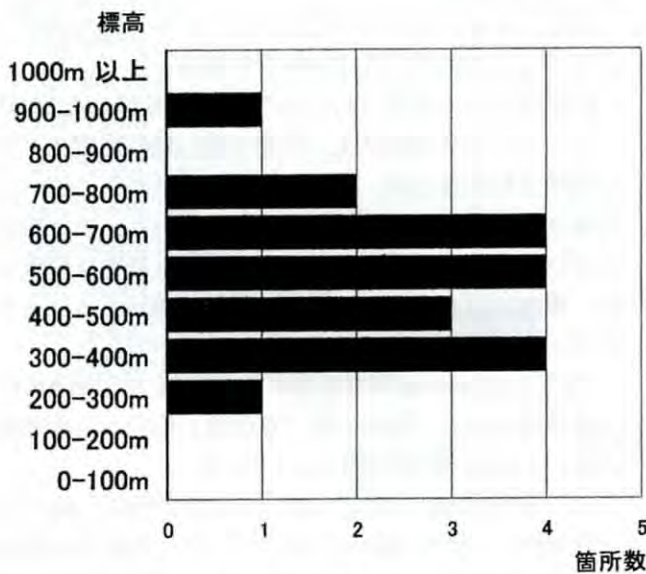
日名倉山の標高900mの区域は植林が進み、現在の東面(宍粟市千種町)、南面(佐用町)は頂上部から麓にかけて見渡す限り植林地である。

西山麓の日名倉山キャンプ場(佐用町600m付近)にカシワが残っており、兵庫県側でハヤシミドリシジミが生息する可能性があるのはこの付近だけであろう。

なお北西面(岡山県東粟倉村)の標高800m付近はカシワの林がかなりの面積で残っており、800m～900m付近は村の建物施設が出来て休日は車のラッシュとなっている。頂上付近(1,000m付近)は少ないながらカシワが残っている。



ハヤシミドリシジミの県内分布



ハヤシミドリシジミの垂直分布

【ヒロオビミドリシジミとの混生地】

両種が同じ場所で採集されたのは朝来市（朝来町）土肥（高田 1977）だけで、民家に近い場所のカシワの枝からヒロオビミドリシジミとハヤシミドリシジミの卵が同時に得られたようである。

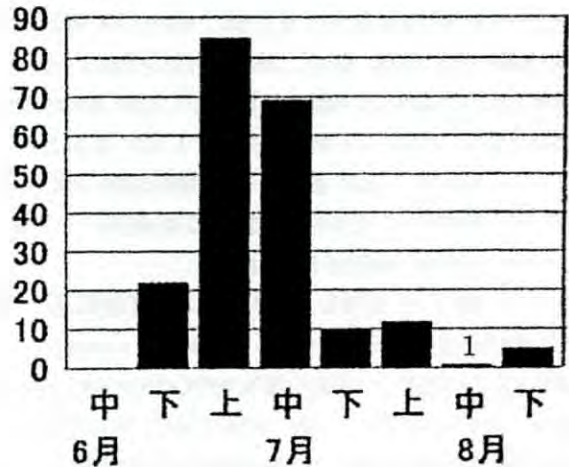
最近同地を調査したが、土肥集落からその裏山にかけてナラガシワは数多く見られたが、カシワは確認出来なかった。

地元の方の話では、集落の裏山は、昔は放牧地で、草原の中にカシワが生えていたそうである。カシワは葉の裏に毛が多く、餅を巻くのに使い「マキノハ」と呼んでいたが、ナラガシワは葉の裏に毛が少なく、餅がくっつくので、餅巻きには使わず「クヌギ」と呼んでいたようで、カシワとナラガシワが当地区では明確に区分され、またカシワとナラガシワが混生していたことは明らかである。

現在は佐囊高原と呼ばれてテニスコート等の運動施設、宿泊所、別荘、パラグライダー基地などになり、果樹園や茶畑としても利用され、カシワは消えてしまったようである。現在もヒロオビミドリシジミが生息する可能性は高いが、ハヤシミドリシジミは、カシワ林の消滅とともに姿を消したと思われる。

ハヤシミドリシジミの周年経過

発生個体数



■ 生態

【成虫の発生時期】

成虫は年1回発生する。6月下旬ごろから見られるが、発生のはピークは7月上旬で8月下旬ごろまで見られる。

【周年経過】

♀は 9月中旬ごろまで見られるようであるが、産卵

時期は明らかでない。カシワの休眠芽付近、枝のひだ状部分、窪み、幹、枝の分岐部などに産み付けられる。

卵のままで越冬し、翌春の4月上～中旬に孵化する。孵化した幼虫は新芽の中にもぐり込み、2令になると芽から離れ、小枝の分岐部などで静止する。3令後期～終令幼虫には鱗片に糸を吐き、巣状の隠れ家を造り、その中に潜んでいることが多い。

夕刻から動きだし、夜間に積極的に葉を食べるようである。他のゼフィルスのように食樹の根元からは蛹が見つからないので、食樹からかなり離れて蛹化しているものと推定される。

【成虫の行動】

早朝日が差し込むと高い梢を飛び回る。日中は活動は鈍く、日没前後に再び活発に高い梢を飛び回る。♂同士の追飛行動が多いが、食樹の自生範囲内で行われる。♀はカシワの休眠芽付近や枝のひだなどに産卵する。8月下旬でも新鮮であったという記録もある。成虫の活動範囲は食樹の自生範囲内で行われる。

■ 採集記録

- 宍粟市千種町室 3♂1♀ 12-VII-1969 喜多⁸
 宍粟市波賀町水谷⁸東山高原⁸道谷⁸
 佐用町日名倉山 1♂ 16-VII-1978 広畑政巳⁸
 豊岡市日高町金谷金山峠18卵 9-X-1977 福田・小林・高田・井手⁸
 豊岡市日高町名色林道 2♀ 3-VIII-1977 木下賢司⁸
 香美町小代区(美方町)神場 6卵 29-X I-1977 高田忠彦⁸
 香美町村岡区(村岡町)村岡 5卵 29-X I-1977 高田忠彦⁸
 " " 兎和野 10卵 29-X I-1977 高田忠彦⁸
 " " 相岡 1♂ 9-VII-1978 広畑政巳⁸
 " " 相大池 6卵10-II-2001⁷⁶
 " " 耀山 3♂1♀ 8-VII-1978 木下賢司⁸
 新温泉町(温泉町)美原高原 1♂1♀ 9-VII-1978 広畑政巳⁸
 朝来市和田山町藤和 10卵 14-X-1977 高田忠彦⁸
 朝来市(朝来町)土肥 8卵 29-X II-1977 高田忠彦⁸
 朝来市生野町生野牧場 4♂3♀ 28-VIII-1971 井上 健⁸
 養父市大屋町西谷地区 3♀ 8-VIII-1958 中尾淳三⁸
 " " 杉ヶ沢 1♂ 30-VI-2001 近藤伸一
 養父市(関宮町)杉ヶ沢28♂26♀10-VII-1976 高田・井出⁸
 " " 相地 12卵 18-X II-1977 高田忠彦⁸
 " " 別宮 10卵 20-X I-1977 高田・小林⁸
 " " 東鉢伏 1♂1♀ 7-VII-1985 松村秀行⁸
 " " 葛畑 4♂2♀ 8-VII-1992 永幡嘉之⁸
 " " 加保坂 1♂1♀ 8-VII-2000⁸⁶⁹

41 ヒロオビミドリシジミ

(*Favonius latifasciatus*)

■ 分布状況

長らく日本の特産種として扱われてきたが、1978年に村山修一により新種とされたウスリミドリシジミ(沿海州～朝鮮半島に分布)が同一種であることが確かめられた。

兵庫県版レッドデータブックではBランクに選定されている。

本州西部だけに分布し、京都、大阪、兵庫から山口県にかけて分布するが産地はいずれも局限される。兵庫県で最初に発見された種で、山本広一氏が1934年6月17日に佐用郡久崎村(現在の佐用町(上月町))で採集された4♂1♀が日本での初記録である。同年川辺郡東谷村笹部(川西市)でも水泉一志氏によって採集され、はからずとも県内の東西領域から同時に本種の産地が見つかっている。

県内ではナラガシワが多い西播磨地域を分布の中心に、但馬地区にも点在している。東播磨から丹波、阪神地区にかけて大きな分布の空白地帯があり、県南東部の三草山周辺地区(川西市、猪名川町)に分布する。

淡路島北部で2例の卵採集の記録はあるが、成虫の確認は出来ていない。その後の調査でも再確認は出来ていない。対岸の神戸や東播磨地区も分布の空白地帯であり極めて特異な分布といえる。再度の調査が望まれる。

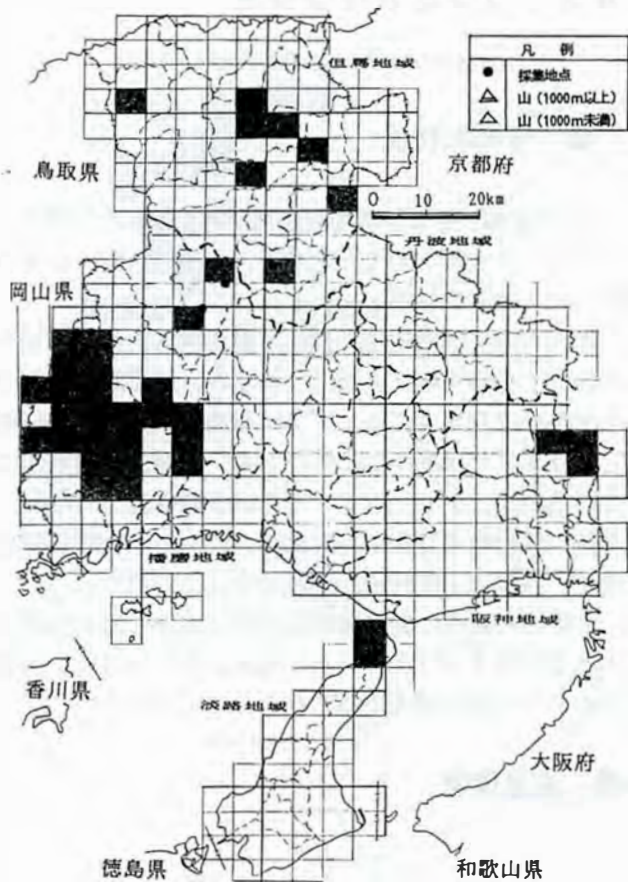
■ 生息環境

食樹であるナラガシワにコナラ、クリ、アベマキ、クヌギなどが混交する2次林を生息地としている。

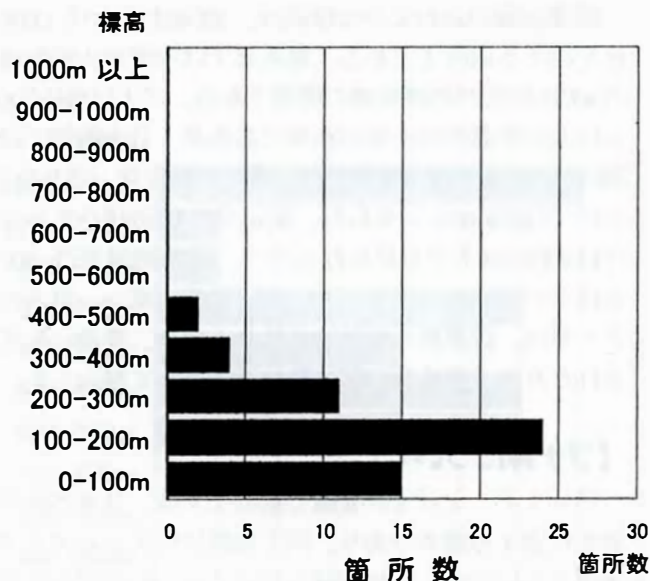
薪炭林として維持されてきた比較的乾燥した2次林で、このような2次林は、平地～低山地の薪炭林として維持されてきたが、近年、生活様式の変化に伴い、放置され、或いは針葉樹の植林地に代わり、また都市に近い丘陵地では開発が進んだため、生息地は局限され、産地は年々減少している。今後も増加する見込みはなく、減少する種であることは明らかである。

標高は200m付近が最も多く、県北部では豊岡市日高町大岡山付近、南部では三草山頂上付近が一番標高の高い生息地(標高約500m)と思われる。

ウラジロミドリと混生している場合が多く、朝来市(朝来町)の標高200mのカシワ、ナラガシワの混交林のカシワからハヤシミドリシジミ、ヒロオビミドリシジミ、ウラジロミドリシジミの3種の卵が同時発見された例がある。



ヒロオビミドリシジミの県内分布



ヒロオビミドリシジミの垂直分布

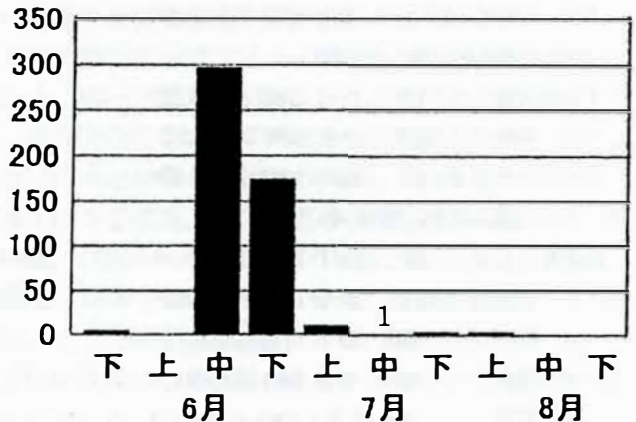
■ 生態

【周年経過】

成虫は年1回発生する。6月中旬から見られ、発生のピークもこの時期で、7月上旬ごろまで見られる。

ヒロオビミドリシジミの周年経過

発生個体数



成虫の採集記録は、♂♀ともに6月中旬に集中しており、6月上～中旬頃に羽化、6月下旬～7月上旬頃に産卵するものと思われる。ナラガシワの幹や枝の裂け目、しわ、枝の分岐部などに卵を産み付ける。卵のまま越冬し、翌春4月中～下旬に孵化する。

孵化した幼虫は新芽の中にもぐり込む。2令ごろまで芽に粗く糸を吐き、その中に潜む。その後は芽から離れ、日中は小枝の分岐部や樹皮のさけ目などで静止し、午後5時ごろから葉に移動して夕刻から夜間にかけて摂食する。

終令幼虫は、ナラガシワの根元付近の枯れ葉などの下に隠れ、夕刻から幹を登って葉を食べる。

幼虫は毎日幹の昇り降りを繰り返すようである。5月下旬ごろに、根元近くの落葉の裏側等で蛹化する。

【幼虫の食餌植物】

県内で確認された食餌植物はナラガシワだけである。

■ 採集記録

- 猪名川町上阿古谷 2♂1♀ 2-VII-1958 田中 蕃⁸
- ” 仁部 2卵 15-II-1958 田中 蕃⁸
- ” 雨森山 1♀ 目撃 26-VI-1958 田中 蕃⁸
- ” 三草山 民田⁸
- 川西市笹部 1♂ VI-1953 小泉一志⁸
- 姫路市林田町六九谷 1卵 30-III-1980 広畑政巳⁸
- ” 林田町松山⁸
- 姫路市安富町塩野⁸
- 宍粟市一宮町福中 1幼虫 20-V-1984 近藤伸一⁸
- ” 井ノ内 13卵 3-IV-1977 若林・高田⁸
- 宍粟市山崎町青木 3卵 19-I-1980 岩村 滋⁸
- ” 蟹ヶ沢 5卵 19-X-1978 高田忠彦⁸

- たつの市新宮町牧 1卵 15-I-1984 広畑政巳⁸
 " " 相坂 1♀ 17-VI-1977 黒田 収⁸
 相生市矢野町瓜生2♂3♀ 16-VI-1963 岩村 巖⁸
 " 矢野町小河 3卵 6-II-1977 高田忠彦⁸
 " 三濃山⁸・三濃山東山麓⁸
 上郡町大富 1卵 17-II-1980 広畑政巳⁸
 " 野桑 5卵 17-II-1980 広畑政巳⁸
 " 大杉野 5♂2♀ 15-VI-1963 岩村 巖⁸
 " 三濃山西南山麓⁸富満⁸
 佐用町上石井 8卵 31-I-1982 近藤伸一⁸
 " 下石井 2♂1♀ 16-VI-1974 広畑政巳⁸
 " 海内 5卵 15-I-1978 広畑政巳⁸
 " 青木 6卵 8-III-1981 広畑政巳⁸
 " 若州 3卵 27-X I 1983 広畑政巳⁸
 " 日野 1♂14-VI-1977 大東康人²⁵⁹
 " 大塚 1♂14-VI-1977 大東康人²⁵⁹
 " 吉福⁸山田⁸福次⁸大島⁸中の原⁸水根⁸奥海⁸
 桑村⁸三原⁸渋谷⁸
 佐用町(南光町)船越⁸
 " " 下三河 石井為久⁸
 " " 東徳久 1♂ 春井博文⁸
 佐用町(三日月町)春哉 4卵 17-II-1980 広畑政巳⁸
 " " 弦谷 2♂4♀ 20-VI-1964 岩村 巖⁸
 佐用町(三日月町)三日月 1♂ 17-VI-1978 弘利正美⁸
 " " 法谷寺⁸
 佐用郡久崎村* 4♂1♀ 17-VI-1934 山本広一⁸
 佐用町(上月町)才金 8卵 3-II-1980 川崎悟良⁸
 " " 大益 1♂ 18-VI-1967 喜多⁸
 " " 久崎 5♂5♀ 17-VI-1964 岩村 巖⁸
 " " 中山 5卵 3-II-1980 広畑政巳⁸
 " " 下秋里 2♂ 15-VI-1975 広畑政巳⁸
 " " 上秋里 11卵 15-II-1981 広畑政巳⁸
 " " 上上井 1♂14-VI-1977 大東康人²⁵⁹
 " " 下上月⁸早瀬⁸・金屋⁸福吉⁸福中⁸
 豊岡市日高町栃本 1♂ 19-VI-1979 木下賢司⁸
 " " 鶴岡 1♂ 19-VI-1979 小崎茂樹⁸
 " " 大岡山 1♂ 22-VI-1984 木下賢司⁸
 豊岡市出石町榎見 2卵 16-X-1977 高田忠彦⁸
 新温泉町(温泉町)桐岡 3卵 19-III-1977 高田忠彦⁸
 朝来市和田山町野村 8卵 3-X I 1977 高田忠彦⁸
 朝来市(朝来町)土肥 10卵 29-X II 1977 高田忠彦⁸
 養父市八鹿町小佐 10卵 14-X-1977 高田・井手⁸
 淡路市(淡路町)谷山 10卵 8-X-1978 福原・糀谷⁸
 淡路市(北淡町)江崎 12卵 31-X-1978 高田・井手⁸

42 フジミドリシジミ

(*Sibatanozephyrus fujisanus*)

■ 分布の状況

日本特産種、近年台湾で別亜種が発見された。ブナ、イヌブナを食樹として、北海道、本州、四国、九州の限られた地区に分布している。

県内では西播磨地域北部から但馬地区にかけてブナ、イヌブナの分布域に点在しているが、いずれの場所でも生息地は局限される。ブナは丹波や六甲山にも分布し、イヌブナは県南部に点在しているが、県南東部におけるフジミドリシジミの生息は確認されていない。豊岡市城崎町来日岳が現在確認されている北限の生息地で、宍粟市山崎町梯が南限となっている。

宍粟市一宮町に源を発する揖保川水系に属する河川の流域にはイヌブナの分布が確認されている所が何箇所もあり今後の調査が望まれるところである。

■ 生息環境

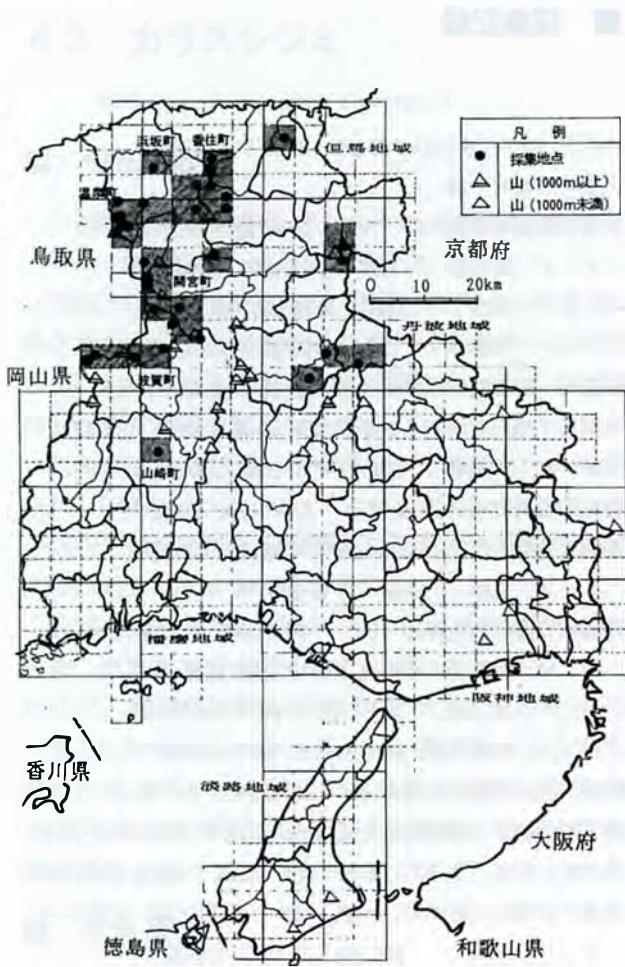
【生息地の現況】

溪流に沿ったブナ、イヌブナ林に生息場所は多いが、尾根部のブナ、イヌブナからも卵は見つかる。

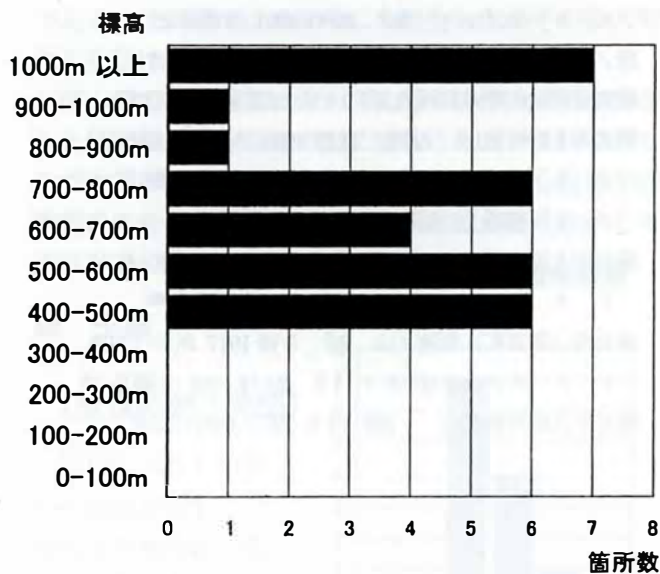
採集記録のおおまかな標高は、400m付近から1,000mを越える場所までである。県南部では宍粟市山崎町梯の500m付近が低標高地の産地である。ブナは海拔700m以上の冷温帯が主な分布地であるが、日本海側では300m付近まで分布域を下げ、香美町香住区(香住町)三川では230mから見られ、新温泉町(浜坂町)九斗山では200m以下でも見られるので、北部地域では400m以下の標高でも生息している可能性は高い。県内のブナ林は、針葉樹の植林地に代わったり、農地に転用されたりして産地及び個体数は近年著しく減少した。

【ブナ林について】

フジミドリシジミの食樹であるブナは、日本の温帯林を代表する樹木であり、同じ地域に生えるミズナラ等とともに安定した極相林を形成する。わが国の温帯林は、本州中部地方から東北・北海道西南部にかけての年平均気温が5~14℃の地域に発達し、ブナ、ミズナラ、カエデ等の喬木が優占種となった落葉広葉樹林になる。



フジドリシジミの県内分布

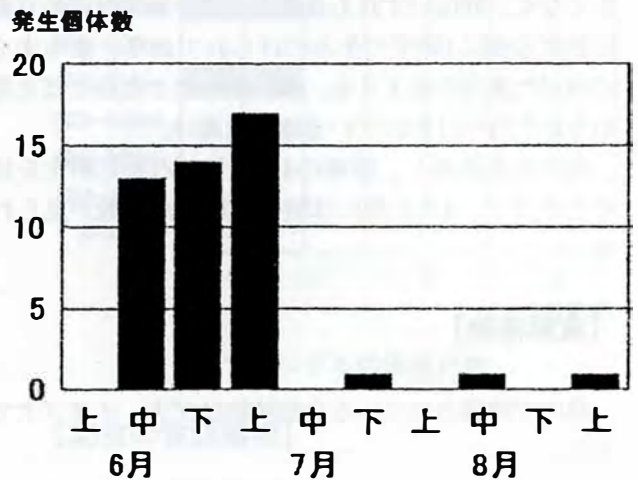


フジドリシジミの垂直分布

県内でブナ・ミズナラ等の樹種が見られるようになるのは、日本海側で300m以上、瀬戸内側では700m以上の標高をもつ山地帯であるが、下限付近においては群落を形成するまでには致らず、ブナ・ミズナラ林としての群落を形成するためには、日本海側では700m以上、瀬戸内側では1000mをこえる標高が必要となる。

現在県内においてブナの分布が確認されている所は、氷ノ山周辺から北に鉢伏山、鉢北、扇ノ山、上山高原、海上に至る地域、久斗山周辺、妙見山から蘇武岳、奥神鍋、小城から三川山に至る区域、床尾山(以上但馬)、篠峯、粟鹿山(以上丹波)、音水、赤西、船越山、江浪峠、ミソギ峠(以上西播)、六甲山等の地域であるが、近年の伐採につぐ伐採のために年々その分布面積は減少している。

フジドリシジミの周年経過



【イヌブナ林について】

イヌブナはブナにくらべればやや低地性の種類となり、モミ等と同様に暖帯の照葉樹林と温帯の夏緑樹林の中間帯をうめる代表的な植物である。

主として瀬戸内側の500m～750mまでの山の斜面に分布しているが大木になることは少なく、幹が根元より分枝して叢生となっている場合が多い。

ブナと異なり、純林となることはなく、林の中に点在して生えているのが普通である。イヌブナもブナと同様、近年とんとん伐採され、スギ、ヒノキ等の人工林へとかわり、かつての音水や赤西の溪谷の山の斜面

に自生していた本種も、現在では見るかげもない。

西播では揖保川水系に属する伊沢川、梯川上流の黒尾山、梯、上ノ、奥山林道等の山の斜面一帯。揖保川水系に属する公文川上流の公文、志倉等の斜面一帯。揖保川水系と市川水系の分水嶺の千町峠付近、揖保川水系に属する林田川上流の鹿ヶ壺、市川水系に属する犬見川、小田原川上流一帯、揖保川水系に属する引原川上流の音水、赤西の溪谷の山の斜面などに分布している。

■ 生態

【周年経過】

成虫は年1回発生する。6月中旬ごろから見られ、発生のピークは7月上旬まで続き、その後は見られなくなる。

西播地域での観察によると、成虫の産卵時期は明らかでなく、卵はいずれも食樹の小枝や新芽付近の日裏にあたる側に1卵ずつ生みつけられており、まっすぐに伸びた高所の枝よりも、横に張り出したひこばえ等の方が生みつけられている確率が高い。

卵のまま越冬し、翌春の4月上旬ごろから孵化を始めるようで、4月上旬には孵化し終った卵殻が見られる。

【食餌植物】

県内で確認されている食餌植物はブナ、イヌブナである。



■ 採集記録

- 神河町(大河内町)砥ノ峰1卵 27-X I-1998³⁵⁹
 宍粟市山崎町 梯
 宍粟市波賀町赤西溪谷 2卵 19-III-1978 白井祐一⁶
 " " 坂の谷 2♂ 2-VII-1977 福原ほか⁶
 " " 道谷 1♂ 8-VII-1967 喜多舒彦⁶
 " " 引原 1♀ 1-IX-1981 稲田和久⁶
 宍粟市一宮町樅ノ木林道 2卵 28-III-1982 広畑政巳⁶
 宍粟市千種町西河内ミソギ峠 1卵 19-X II-1982 広畑政巳⁶
 " " 江浪峠 1卵 19-X II-1982 広畑政巳⁶
 豊岡市城崎町来日岳 3♂2♀ 17-VI-1995 梁瀬 守⁶
 豊岡市竹野町三川山4♂6♀ 28-VI-1999 柴田洋昭⁷⁸
 " " 三原 2exs 17-VI-2001⁷⁸⁰
 豊岡市日高町名色林道 1♂ 8-VII-1978 木下賢司⁶
 " " 稲葉三川山4♂1♀ 18-VI-1994 梁瀬 守⁶
 " " 三川山 3♂ 26-VI-1978 高田忠彦⁶
 " " 神鍋高原 2卵 10-X II-1977 小林健介⁶
 豊岡市出石町東床ノ尾山 1♂ 20-VI-1979 木下賢司⁶
 香美町香住区(香住町) 三川 1幼虫 11-IV-1977 高田・井手⁶
 香美町小代区(美方町) 熱田 3卵 23-X I-1978 若林ほか⁶
 香美町村岡区(村岡町) 小城 1卵 27-III-1983 近藤伸一⁶
 " " 村岡 4卵 10-X II-1977 小林健介⁶
 新温泉町(温泉町) 上山 2♂ 1-VII-1985 前平照雄⁶
 " " 霧ヶ滝 1幼虫 3-V-1976 若林ほか⁶
 " " 海上 10卵 17-X II-1977 小林健介⁶
 " " 高山 6卵 23-X I-1977 小林健介⁶
 " " 菅原 佐々木薫⁶
 " " 小ツッコ 8♂ 29-VI-1991 永幡嘉之⁶
 扇ノ山 1♀ 18~20-VIII-1953 奥谷楨一⁶
 朝来市和田山町糸井溪谷3卵 14-II-1976 高田・井出⁶
 朝来市生野町黒川 58卵 24-III-1985 入江照夫ほか⁶
 " " 銀山湖周辺 36卵 23-X-1982 勝屋 潤⁶
 " " 栃原 1卵 5-I-2001⁷⁷⁵
 養父市大屋町横行 3卵 16-X II-1979 近藤伸一⁶
 " " 氷ノ山 1♂ 29-VI-1998 内藤隆生³⁹⁰
 養父市(関宮町) 須賀ノ山 2♀ 3-VII-1977 高田・白井⁶
 " " 氷ノ山小豆コカシ 1♀ 24-VII-1991 永幡嘉之⁶
 養父市八鹿町妙見山 2卵 14-X-1977 高田・井出⁶